



HPE ProLiant Compute DL580 Gen12 ユーザーガイド

部品番号: 30-49B70A45-003-ja-JP

発行: 2026 年 4 月

版数: 3

HPE ProLiant Compute DL580 Gen12 ユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterprise では、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解し、ラック設置時の重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。

部品番号: 30-49B70A45-003-ja-JP

発行: 2026 年 4 月

版数: 3

© Copyright 2025-2026 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスは、それらに付属する明示的な保証規定によってのみ保証されます。本書が追加の保証を構成するものではありません。本書中の技術的あるいは編集上の誤りや欠落について、Hewlett Packard Enterprise では一切責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から有効な使用許諾を取得する必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外部に移動します。Hewlett Packard Enterprise では、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト外の情報については管理しておらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Intel®、Intel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC)、および Xeon®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux®は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows Server®は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

VMware®は、米国およびその他の管轄区域における VMware Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

コンポーネントの識別.....	11
フロントパネルのコンポーネント.....	12
フロントパネルの LED とボタン.....	13
リアパネルのコンポーネント.....	15
リアパネルの LED.....	16
コンポーネントのタッチポイント.....	17
内部コンポーネント.....	18
システムボードのコンポーネント.....	19
システムメンテナンススイッチの説明.....	21
DIMM ラベルの識別.....	22
DIMM スロットの番号.....	23
プロセッサメザニンボードのコンポーネント.....	23
データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント.....	24
ライザーボードのコンポーネント.....	25
PCIe ライザーの番号.....	26
PCIe ライザースロットの番号.....	26
側波帯ボードのコンポーネント.....	27
HPE のベーシックドライブの LED の定義.....	28
EDSFF SSD の LED の定義.....	29
ドライブベイの番号.....	30
SFF (2.5 型) ドライブベイの番号.....	31
E3.S ドライブベイの番号.....	32
ドライブバックプレーンの命名.....	32
ファン番号.....	33
ファンモードの動作.....	34
直接液冷モジュールコンポーネント.....	34
直接液冷のガイドライン.....	35
DPU および PCIe ファンの取り付けルール.....	36
HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のコンポーネント.....	36
HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の LED の定義.....	37
Systems Insight Display LED.....	38
Systems Insight Display LED の組み合わせについての説明.....	40
ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント.....	41
セットアップ.....	42

HPE インストレーションサービス.....	42
サーバーのセットアップ.....	43
動作要件.....	45
空間および通気要件.....	46
温度要件.....	47
電源要件.....	47
アース要件.....	48
ラックに関する警告と注意事項.....	49
サーバーに関する警告と注意事項.....	51
静電気対策.....	52
操作.....	52
iLO サービスポート.....	53
Intel VROC のサポート.....	54
サーバーの UID LED.....	55
サーバーヘルスサマリーの表示.....	55
モニターのセットアップ.....	56
Systems Insight Display にアクセスする.....	56
Trusted Platform Module 2.0.....	57
Trusted Platform Module 2.0 のガイドライン.....	57
システムバッテリーの情報.....	58
ハードウェアオプション.....	58
Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs.....	59
ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン.....	60
取り付け前の手順.....	60
サーバーデータバックアップ.....	61
サーバーの電源を切る.....	62
DLC 延長ホースを取り外す.....	62
ラックからサーバーを引き出す.....	63
フロントベゼルを取り外す.....	64
ラックからサーバーを取り外す.....	65
電源装置を取り外す.....	66
アクセスパネルを取り外す.....	68
エアバッフルを取り外す.....	69
ファンケージを取り外す.....	70
システムボードバッフルを取り外す.....	71
プロセッサメザンントレイを取り外す.....	72
ファンケーブルアセンブリを取り外す.....	73
GPU ケージを取り外す.....	74

キャプティブライザーを取り外す.....	76
キャプティブライザーケーブルを取り外す.....	77
取り付け後の手順.....	78
GPU ケージを取り付ける.....	79
ファンケーブルアセンブリを取り付ける.....	80
プロセッサメザンントレイを取り付ける.....	80
ファンケージを取り付ける.....	81
システムボードバッフルを取り付ける.....	82
エアバッフルを取り付ける.....	83
アクセスパネルを取り付ける.....	83
サーバーをラックに取り付ける.....	84
DLC 延長ホースを接続する.....	86
サーバーの電源を入れる.....	87
冷却.....	87
PCIe ファンの取り付け.....	87
構成済みサーバーに DLC モジュールを接続する.....	89
ドライブ.....	90
ドライブの取り付けのガイドライン.....	91
ホットプラグ対応 SFF (2.5 型) SAS、SATA、または NVMe ドライブの取り付け.....	92
E3. S ドライブの取り付け.....	93
ドライブケージ.....	94
スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブケージの取り付け.....	94
8 SFF (2.5 型) ドライブケージの取り付け.....	98
8 E3. S ドライブケージの取り付け.....	100
Energy Pack.....	102
HPE Smart ストレージバッテリー.....	102
HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター.....	102
最小ファームウェアバージョン.....	103
Energy Pack を取り付ける.....	103
管理.....	105
System Insight Display の取り付け.....	105
メディアデバイス.....	108
ユニバーサルメディアベイの取り付け.....	108
ユニバーサルメディアベイへのオプティカルドライブの取り付け.....	110
メモリ.....	113
HPE Smart メモリの速度と取り付け情報.....	113
DIMM の取り付けに関するガイドライン.....	113

プロセッサメザニンボードへの DIMM の取り付け.....	114
システムボードへの DIMM の取り付け.....	116
ネットワーク.....	118
OCP NIC の取り付け.....	118
GPU ケージへの PCIe NIC の取り付け.....	121
OS ブートデバイス.....	123
HPE NS204i-u ブートデバイス V2 オプション.....	123
フロントパネルへの HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の取り付け....	124
リアパネルへの HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の取り付け.....	127
電源装置.....	131
電源装置オプション.....	131
ホットプラグ対応電源装置に関する計算.....	131
電源装置に関する警告と注意事項.....	132
DC 電源装置に関する警告と注意事項.....	133
DC 電源装置のワイヤーの色.....	133
電源装置のガイドライン.....	134
AC 電源装置の取り付け.....	135
73.5-mm DC 電源装置の取り付け.....	137
DC 電源ケーブルの DC 電源への接続.....	142
プロセッサとヒートシンク.....	144
プロセッサに関する注意事項.....	145
プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け.....	145
プロセッサメザントレイオプション.....	150
2 プロセッサ構成から 4 プロセッサ構成へのアップグレード.....	150
ラックマウントオプション.....	159
レール識別マーカー.....	159
ラックマウントインターフェイス.....	160
CMA コンポーネント.....	160
ラックレールのオプション.....	161
ボールベアリングラックレールを取り付ける.....	161
ラックへのサーバーの取り付け：ボールベアリングラックレール.....	164
ケーブルマネジメントアームの取り付け.....	165
ライザー.....	169
キャプティブライザーの取り付け.....	169
拡張カードの取り付け.....	171
セキュリティ.....	173
フロントベゼルオプションの取り付け.....	173
ストレージコントローラー.....	174

タイプ o ストレージコントローラーの取り付け.....	174
GPU ケージへのタイプ p ストレージコントローラーの取り付け.....	177
ケーブル接続.....	179
ケーブル接続のガイドライン.....	180
ケーブル配線図.....	182
内部ケーブル管理.....	188
ストレージのケーブル接続.....	188
ストレージコントローラーのケーブル接続.....	188
SFF (2.5 型) ドライブ構成.....	189
ドライブボックス 1 のケーブル接続.....	189
ドライブボックス 3 のケーブル接続.....	192
ドライブボックス 4 のケーブル接続.....	198
ドライブボックス 6 のケーブル接続.....	204
E3.S ドライブ構成.....	205
ドライブボックス 1 のケーブル接続.....	206
ドライブボックス 3 のケーブル接続.....	206
ドライブボックス 4 のケーブル接続.....	207
ドライブボックス 6 のケーブル接続.....	209
ドライブ電源のケーブル接続.....	210
Energy Pack のケーブル接続.....	211
ストレージバックアップ電源のケーブル接続.....	212
キャプティブライザーのケーブル接続.....	213
キャプティブライザーのケーブル接続 : 2 プロセッサ構成.....	213
キャプティブライザーのケーブル接続 : 4 プロセッサ構成.....	214
DPU 補助電源のケーブル接続.....	217
オプティカルドライブのケーブル接続.....	218
ユニバーサルメディアベイのケーブル接続.....	218
HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のケーブル接続.....	219
側波帯ボードのケーブル接続.....	219
ファンのケーブル接続.....	220
Intel UPI のケーブル接続.....	221
OCP 帯域幅有効化のケーブル接続.....	222
シリアルポートのケーブル接続.....	223
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続.....	223
Systems Insight Display のケーブル接続.....	224
フロント I/O のケーブル接続.....	224
DLC モジュールのケーブル接続.....	225
PDU のケーブル接続.....	225

PDU のケーブル接続 : 2 電源装置構成.....	226
PDU のケーブル接続 : 4 電源装置構成.....	226
トラブルシューティング.....	227
NMI 機能.....	227
フロントパネルの LED 電源障害コード.....	228
トラブルシューティングの関連情報.....	228
構成関連情報.....	228
ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート.....	229
サーバーの構成.....	230
ストレージコントローラーの構成.....	232
オペレーティングシステムの展開.....	234
セキュリティの構成.....	235
サーバー管理.....	236
Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理.....	236
安全、保証および規制に関する情報.....	237
規定に関する情報.....	237
Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)	238
Turkey RoHS material content declaration.....	239
Ukraine RoHS material content declaration.....	239
保証情報.....	239
仕様.....	239
環境仕様.....	240
機械仕様.....	241
電源装置の仕様.....	242
HPE 1500 W M-CRPS Titanium パワーサプライ (HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply).....	242
HPE 2200 W M-CRPS -48 VDC パワーサプライ (HPE 2200 W M-CRPS -48 VDC Hot-plug Power Supply).....	243
HPE 2400 W M-CRPS Titanium パワーサプライ (HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply).....	244
HPE 3200 W M-CRPS Titanium パワーサプライ (HPE 3200 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply).....	245
Web サイト.....	247
サポートと他のリソース.....	247
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	248
HPE 製品登録.....	248
アップデートへのアクセス.....	249
カスタマーセルフリペア (CSR)	249
リモートサポート.....	250

ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	250
------------------------	-----

コンポーネントの識別

ハードウェアの設置と保守をサポートするために、外部と内部のサーバー機能の概要を説明します。

サブトピック

[フロントパネルのコンポーネント](#)

[フロントパネルの LED とボタン](#)

[リアパネルのコンポーネント](#)

[リアパネルの LED](#)

[コンポーネントのタッチポイント](#)

[内部コンポーネント](#)

[システムボードのコンポーネント](#)

[プロセッサメザニンボードのコンポーネント](#)

[データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント](#)

[ライザーボードのコンポーネント](#)

[PCIe ライザーの番号](#)

[PCIe ライザー Slots の番号](#)

[側波帯ボードのコンポーネント](#)

[HPE のベーシックドライブの LED の定義](#)

[EDSFF SSD の LED の定義](#)

[ドライブベイの番号](#)

[ドライブバックプレーンの命名](#)

[ファン番号](#)

[直接液冷モジュールコンポーネント](#)

[DPU および PCIe ファンの取り付けルール](#)

[HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のコンポーネント](#)

[HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の LED の定義](#)

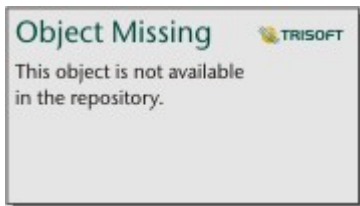
[Systems Insight Display LED](#)

[Systems Insight Display LED の組み合わせについての説明](#)

[ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント](#)

フロントパネルのコンポーネント

SFF (2.5 型) ドライブ構成

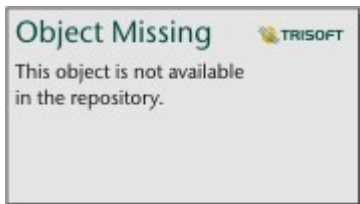


番号	説明
1	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
2	SFF (2.5 型) ドライブ ²
3	iLO サービスポート
4	USB 3.2 Gen 1 ポート
5	System Insight Display (オプション)

¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。

² サーバーは SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートしています。

E3.S ドライブ構成



番号	説明
1	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
2	E3.S ドライブ
3	iLO サービスポート
4	USB 3.2 Gen 1 ポート
5	System Insight Display (オプション)

¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。

2 SFF (2.5 型) + NS204i-u ドライブ構成

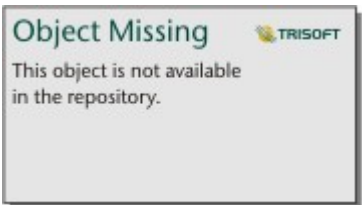
ユニバーサルメディアベイと NS204i-u ブートデバイスは、SFF (2.5 型) と E3.S ドライブ構成のどちらも同じ位置に配置されます。



番号	説明
1	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
2	USB 2.0 ポート
3	DisplayPort 1.1a
4	オプティカルドライブベイ
5	NS204i-u ブートデバイス (オプション)

¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。

フロントパネルの LED とボタン



番号	説明	ステータス	定義
1	電源ボタン/システム電源 LED ¹	緑色で点灯	システムの電源はオンです
		緑色で点滅	電源投入手順を実行中です
		オレンジ色で点灯	システムはスタンバイ状態です

番号	説明	ステータス	定義
		消灯	電源が供給されていません ²
2	ヘルス LED ¹	緑色で点灯	正常
		緑色で点滅	iLO が再起動中
		オレンジ色で点滅	システムが劣化しました ³
		赤色で点滅	システムに重大な障害が発生しています ³
3	OCP NIC のステータス LED ¹	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	UID ボタン/LED ¹	青色で点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	・ 毎秒 1 回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です ・ 毎秒 4 回点滅 - iLO の手動再起動シーケンスが開始されました ・ 毎秒 8 回点滅 - iLO の手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み

¹ すべての LED が同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。詳しくは、フロントパネル LED の電源障害コードを参照してください。

² 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、またはフロント I/O のケーブルが外れています。

³ ヘルス LED が劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、システムのインテグレートッドマネジメントログ (IML) を確認するか、または HPE iLO を使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

リアパネルのコンポーネント



番号	説明
1	M-CRPS ¹ 4 (メザニンボード専用 - オプション)
2	スロット 1~12 PCIe5 (左から右へ)
3	NS204i-u デバイス (オプション)
4	直接液冷ウォーターホース 2 (メザニンボード専用 - オプション)
5	M-CRPS 3 (メザニンボード専用 - オプション)
6	直接液冷ウォーターホース 1 (システムボード専用 - オプション)
7	M-CRPS 1
8	ix ポート ² (オプション)
9	スロット 15 OCP B PCIe5 x8/x16 ³
10	スロット 14 OCP A PCIe5 x8/x16 (オプション)
11	iLO 専用ネットワークポート ⁴
12	USB 3.2 Gen 1 ポート ⁴
13	VGA ポート ⁴
14	M-CRPS 2

¹ モジュラーハードウェアシステム共通冗長電源装置

² ix ポートは外部シリアルポートドングルに接続します。

³ スロット 15 はデフォルトで x8 帯域幅をサポートします。x16 構成を有効にするには、OCP 帯域幅アップグレードケーブルオプションをインストールします。

⁴ これらのコンポーネントは DC-SCM オプション上にあります。

リアパネルの LED



番号	LED	ステータス	定義
1	電源装置	緑色で点灯	電源装置は正常に動作しています。
		緑色で点滅	・ 毎秒 1 回点滅 - 電源装置がスタンバイモードに入っています ・ 毎秒 2 回点滅 - 電源装置のファームウェアがアップデート中です
		オレンジ色で点灯	以下の 1 つ以上の条件が発生 ・ 電源装置で障害が発生している ・ 電源装置のエラー
		消灯	以下に示す 1 つ以上の状態が発生しています。 ・ 電源が供給されていない ・ 電源コードが外れている。
2	UID ¹ ₁	青色で点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	・ 毎秒 1 回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です ・ 毎秒 4 回点滅 - iLO の手動リブートシーケンスが開始されました ・ 毎秒 8 回点滅 - iLO の手動リブートシーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み
3	iLO ステータス	緑色で点灯	ネットワークに接続しています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です

番号	LED	ステータス	定義
4	iLO リンク ¹	消灯	ネットワークが動作していません
		緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		消灯	ネットワークにリンクしていません

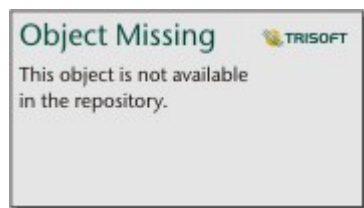
¹ これらのコンポーネントは DC-SCM オプション上にあります。

コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPE ホットプラグレッド

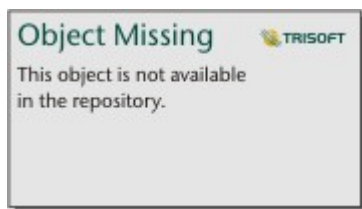


ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例：

- ・ 冗長電源構成の電源装置
- ・ ホットプラグ対応ファン
- ・ ホットプラグ対応ドライブ
- ・ ホットプラグ対応ブートデバイス内の M.2 SSD

HPE タッチポイントブルー



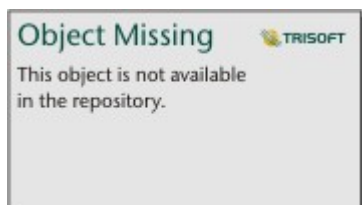
タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムのシャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

コンポーネントの例：

- ・ ストレージデバイス
- ・ ファンケージ
- ・ システムボード
- ・ Energy Pack

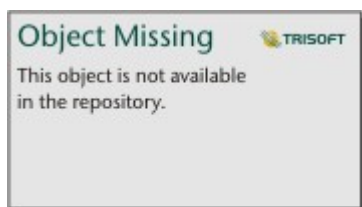
内部コンポーネント

2 プロセッサ構成



番号	説明
1	GPU ケージ
2	ファンケージ
3	システムボード
4	DLC モジュール
5	HPE NS204i-u ブートデバイス V2 (オプション)
6	側波帯ボード

4 プロセッサ構成

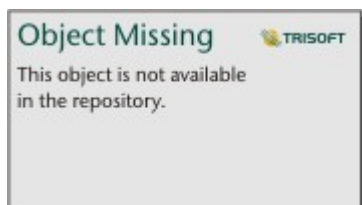


番号	説明
1	GPU ケージ
2	ファンケージ
3	プロセッサメザニンボード
4	DLC モジュール
5	HPE NS204i-u ブートデバイス V2 (オプション)
6	側波帯ボード

システムボードのコンポーネント

システムボードの画像でグレー表示されているコンポーネントは、このサーバーでは使用できません。

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



番号	説明
1	ストレージのバックアップ電源コネクタ 1
2	M-XIO ポート <u>1</u>
3	UPI コネクタ <u>2</u>
4	NS204i-u 信号コネクタ
5	USB 3.2 Gen 1 ポート
6	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ

番号	説明
7	M-PIC 電源コネクタ 1
8	M-PIC 電源コネクタ 2
9	M-XIO ポート 12
10	NS204i-u 電源コネクタ
11	UPI コネクタ 1
12	UPI コネクタ 2
13	M-XIO OCP ポート B
14	PCIe5 x16 ライザーコネクタ 2
15	M-XIO OCP ポート A-1
16	M-XIO ポート 17
17	PCIe5 x16 ライザーコネクタ 3
18	M-XIO OCP ポート A-2
19	システムバッテリー
20	PCIe5 x16 ライザーコネクタ 4
21	USB 2.0/DisplayPort ケーブルコネクタ
22	M-XIO ポート 13
23	フロント I/O コネクタ
24	側波帯信号コネクタ 1
25	PCIe5 x16 ライザーコネクタ 6
26	M-PIC 電源コネクタ 3
27	M-PIC 電源コネクタ 4
28	SID コネクタ
29	UPI コネクタ 8
30	UPI コネクタ 7
31	ストレージのバックアップ電源コネクタ 2
32	ボックス 6 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
33	ボックス 3 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
34	システムメンテナンススイッチ
35	ファンコネクタ 6
36	ファンコネクタ 5
37	Energy Pack コネクタ
38	M-PIC 電源コネクタ 5
39	ボックス 4 : ドライブバックプレーン電源コネクタ

番号	説明
40	ファンコネクタ-2
41	ファンコネクタ-1
42	ボックス 1: ドライブバックプレーン電源コネクタ
43	液冷コネクタ

¹ M-XIO ポートは上から下に 4、6、2、0、5、7、3、1 と番号が付けられています。

² Intel UPI コネクタは上から下に 5、6、3、4、11、12、9、10 と番号が付けられています。

サブトピック

[システムメンテナンススイッチの説明](#)

[DIMM ラベルの識別](#)

[DIMM スロットの番号](#)

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト	機能
S1	オフ	- オフ - iLO 7 セキュリティは有効です。 - オン - iLO 7 セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5	オフ	- オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 - オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ¹ 、 ²	オフ	- オフ - 動作していません - オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み

位置	デフォルト	機能
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

- ¹ システムメンテナンススイッチの S6 をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。
- ² システムメンテナンススイッチの S6 をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、サーバーの構成を参照してください。

DIMM ラベルの識別

DIMM の特長を確認するには、DIMM に貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用して DIMM の仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 Smart メモリの QuickSpecs を参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



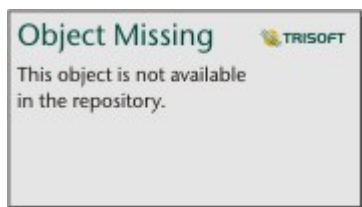
番号	説明	例
1	容量*	16 GB
		32 GB
		64 GB
		96 GB
		128 GB
		256 GB
2	ランク	1R – シングルランク
		2R – デュアルランク
		4R – クアッドランク

番号	説明	例
3	DRAM 上のデータ幅	x4 - 4 ビット x8 - 8 ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度*	6400 MT/s
6	CAS レイテンシ	B - 42-42-42
7	DIMM タイプ	R - RDIMM (レジスター付き)

*メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサモデルの総合的な組み合わせによって決まります。

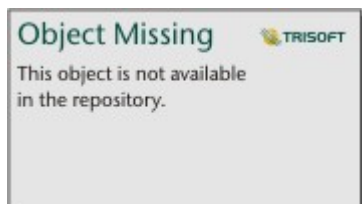
DIMM スロットの番号

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



プロセッサメザニンボードのコンポーネント

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



番号	説明
1	M-XIO ポート <u>1</u>
2	UPI コネクター <u>2</u>
3	UPI コネクター 1
4	UPI コネクター 2
5	M-PIC 電源コネクター 1
6	M-PIC 電源コネクター 2
7	MCIO ポート 10
8	MCIO ポート 8
9	MCIO ポート 12
10	MCIO ポート 14
11	MCIO ポート 15
12	MCIO ポート 13
13	MCIO ポート 11
14	MCIO ポート 9
15	M-PIC 電源コネクター 3
16	M-PIC 電源コネクター 4
17	側波帯信号コネクター
18	UPI コネクター 7
19	UPI コネクター 8
20	液冷コネクター

¹ M-XIO ポートは上から下に 4、6、2、0、5、7、3、1 と番号が付けられています。

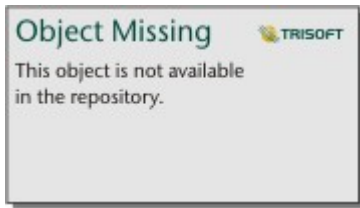
² Intel UPI コネクターは上から下に 5、6、3、4、11、12、9、10 と番号が付けられています。

データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント

このサーバーは、データセンターモジュラーハードウェアシステム（DC-MHS）ベースの製品です。

- ・ システムボード上のプロセッサと DIMM がコンピュータ機能を提供します。システムボードはホストプロセッサモジュール（HPM）として機能します。

- データセンターセキュアコントロールモジュール (DC-SCM) に組み込まれている iLO と Trusted Platform Module 2.0 (TPM 2.0) チップセットが、このサーバーの管理機能とセキュリティ機能を提供します。このモジュールには、シリアルポートオプション用のコネクタもあります。

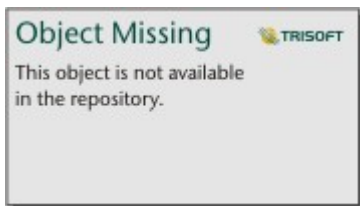


ライザーボードのコンポーネント

2 スロット PCIe x16 キャプティブライザーには、PCIe スロットを接続する信号ケーブルオプションがあります。各ライザーが最大 2 つのスロットをサポートします。

プロセッサ構成に応じて、サーバーは、2 プロセッサ構成で最大 3 つのキャプティブライザーをサポートするか、4 プロセッサ構成で 6 つすべてのキャプティブライザーをサポートします。

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



番号	説明
1	キャプティブライザー電源コネクタ
2	GPU 側波帯コネクタ
3	キャプティブ補助電源コネクタ
4	キャプティブライザーケーブル
5	ライザースロット スロット番号とサポートされているフォームファクターについては、 PCIe ライザースロットの番号 を参照してください。
6	PCIe スロット側波帯信号コネクタ

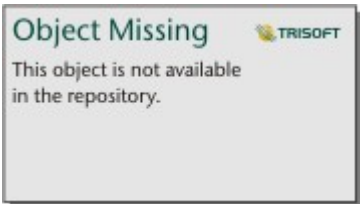
PCIe ライザーの番号

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



PCIe ライザー Slots の番号

すべてのキャプティブライザー Slots は、コネクタリンク幅 x16 の PCIe5（16、8、4、2）です。各 Slots の最大消費電力はそれぞれ 75 W です。



2 プロセッサ構成

ライザー	スロット	バス幅	サポートされるフォームファクター	サポートされているハードウェアコンポーネント
1 ¹ _↓	1	—	—	—
	2	—	—	—
2 ² _↓	3	×16	フルハイト、3/4 レングス	タイプ p ストレージコントローラー
	4	×8		
3 ² _↓	5	×16	ハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）	OCP NIC アダプター
	6	×8		
4	7	×8		
	8	×8		
5 ¹ _↓	9	—	—	—

ライザー	スロット	バス幅	サポートされるフォームファクター	サポートされているハードウェアコンポーネント
6 ¹ ₂	10	–	–	–
	11	–	–	–
	12	–	–	–

¹ これらのライザーは、この構成ではサポートされていません。

² これらのライザーは、デフォルトでサーバーに取り付けられています。

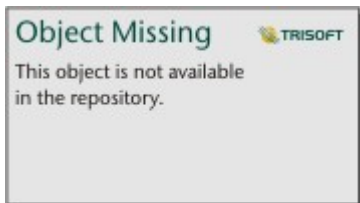
4 プロセッサ構成

ライザー	スロット	バス幅	サポートされるフォームファクター	サポートされているハードウェアコンポーネント
1	1	×8	フルハイト、3/4 レングス	タイプ p ストレージコントローラー
	2	×8		
2	3	×16	ハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）	OCP NIC アダプター
	4	×8		
3 ¹ ₂	5	×16		
	6	×8		
4 ¹ ₂	7	×16		
	8	×8		
5	9	×16		
	10	×8		
6	11	×8		
	12	×8		

¹ これらのライザーは、デフォルトでサーバーに取り付けられています。

側波帯ボードのコンポーネント

側波帯ボード上のすべてのコネクタは側波帯信号コネクタです。



番号	シルクスクリーンマーカ
1	CB3 SB
2	CB2 SB
3	CB1 SB
4	HPM SB1
5	HPM SB2

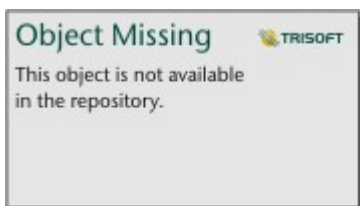
HPE のベーシックドライブの LED の定義

HPE のベーシックドライブキャリアには、次の LED があります。

- ・ オレンジ色/青色の LED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- ・ 緑色の LED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

SFF (2.5 型) ベーシックドライブキャリア

SFF (2.5 型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグ SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。

番号	LED	状態	定義
2	オンライン/動作	青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒 1 回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
		緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 - RAID の再構築または実行 - ストリップサイズの移行の実行 - 容量拡張の実行 - 論理ドライブの拡張の実行 - 消去 - スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅（毎秒 4 回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAID コントローラーで構成されていない、またはスペアドライブです。

EDSFF SSD の LED の定義

EDSFF ドライブキャリアには、次の 2 つの LED があります。

- ・ オレンジ色/青色の LED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- ・ 緑色の LED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがあります。
		消灯	電源が供給されていません。

ドライブベイの番号



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

サブトピック

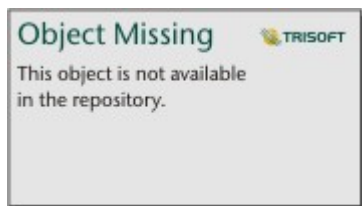
SFF (2.5 型) ドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンオプションが、SFF (2.5 型) ドライブ構成でサポートされています。

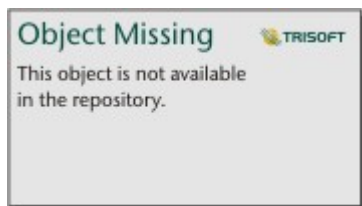
- ・ スタックした 2 SFF (2.5 型) :
 - 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
 - 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC
- ・ 8 SFF (2.5 型) :
 - 8 SFF (2.5 型) 24G x1 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
 - 8 SFF (2.5 型) 24G x1 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC
 - 8 SFF (2.5 型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
 - 8 SFF (2.5 型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブベイの番号



8/16/24/32 SFF (2.5 型) ドライブベイの番号



E3. S ドライブベイの番号

E3. S ホットプラグ対応ドライブボックスは、4 E3. S 32G x4 NVMe UBM10 EC ドライブバックプレーンを使用します。

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

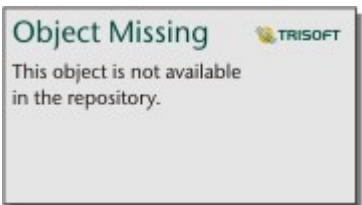
8/16/24/32 E3. S ドライブベイの番号



ドライブバックプレーンの命名

このトピックでは、ドライブバックプレーンの命名で示されている機能について説明します。この命名規則は、HPE Gen11 サーバーリリースから採用されています。サーバーは、このトピックに記載されているすべての機能をサポートしているとは限りません。サーバー固有のサポート情報については、サーバーのガイドを参照してください。

- ・ ドライブバックプレーンのサポートについては、[ドライブベイの番号](#)を参照してください。
- ・ ドライブバックプレーンのケーブル接続については、[ストレージのケーブル接続](#)を参照してください。



番号	説明	値
1	ドライブベイの数	バックプレーンでサポートされているドライブベイの数。
2	ドライブのフォームファクター	LFF (3.5 型) - ラージフォームファクター

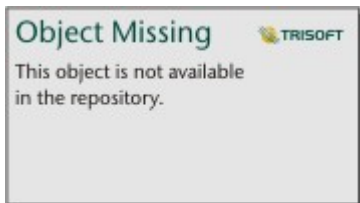
番号	説明	値
		SFF (2.5 型) – スモールフォームファクタ –
		E3.S – Enterprise and Datacenter Standard Form Factor (EDSFF E3.S)
3	レーンあたりの最大リンク速度 (GT/s)	12G 16G 24G 32G
4	ポートリンク幅とインターフェイス	x1 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、または SATA ¹ x4 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、または SATA ² x4 NVMe – NVMe ³ x4 NVMe – E3.S
5	Universal Backplane Manager (UBM) モデル	UBM モデルは、バックプレーンで使用する UBM ファームウェアを定義します。 UBM モデルの例：UBM2、UBM3 など。
6	ドライブキャリアのタイプ	BC – ベーシックキャリア (SFF (2.5 型)) LP – ロープロファイルキャリア (LFF (3.5 型)) EC – E3.S キャリア

- ¹ x1 U.3 NVMe、SAS、および SATA ドライブに対するトライモードコントローラーのサポート。システムボード接続は、SATA ドライブのみをサポートします。
- ² x4 U.3 NVMe、x2 (スプリッターケーブル経由) U.3 NVMe、または x1 SAS および SATA ドライブに対する CPU 直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。
- ³ x4 NVMe ドライブに対する CPU 直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。

ファン番号

システムに十分なエアフローが確保されるように、サーバーにはデフォルトで 4 個のデュアルローターファンが取り付けられています。

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



サブトピック

ファンモードの動作

ファンモードの動作

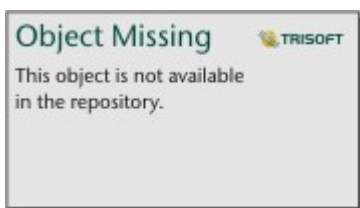
8 個のローターを含むデフォルトの 4 つのファンが、冗長ファンのサポートを提供します。冗長ファンモードでファンローターに障害が発生した場合には、次のようになります：

- ・ システムは非冗長ファンモードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
- ・ システムヘルス LED がオレンジ色に点滅します。

2 番目のファンローターの障害またはファンの欠落が発生した場合、オペレーティングシステムは正常にシャットダウンします。

直接液冷モジュールコンポーネント

詳しくは、[直接液冷のガイドライン](#)を参照してください。



番号	説明
1	コールドプレート
2	クーラントホース
3	電源および信号ケーブル
4	漏れ検知ケーブル

番号	説明
5	DLC ホースホルダー
6	クーラント供給クイックコネクター
7	クーラントリターンクイックコネクター

サブトピック

直接液冷のガイドライン

直接液冷のガイドライン

直接液冷（DLC）モジュールは、プリインストールオプションです。

クーラント漏れの検出

DLC モジュールのクーラントは、ラックのマニホールドを通じてホースに供給されます。クーラント漏れが発生した場合、システムイベントが発生します。

- ・ iLO が漏れを自動的に検出し、以下のように動作します。
 - iLO REST アラートと SNMP トラップを送信します
 - イベントをインテグレートドマネジメントログ（IML）に記録します
- ・ システムは即時シャットダウンを開始します。漏れイベントがクリアされるまでシステムの電源はオンにならず、システムリカバリのために REST API 操作が実行されます。
- ・ サーバーメンテナンスガイド (<https://www.hpe.com/info/dl580gen12-msg>) の Appendix I: Server coolant spill response の推奨手順に従ってください。

保管時温度

DLC モジュールを搭載したサーバーを保管する場合は、-10° C～60° C の温度を維持してください。DLC モジュールのクーラントが凍結してしまうと、金属の微細構造が損傷する可能性があります。

施設給水温度

最適な冷却性能を維持し、過熱による機器の損傷を防ぐには：

- ・ 施設給水温度が 40° C を超えないようにしてください。
- ・ 年間を通して環境条件を監視し、気温の変動を予測します。
- ・ 給水温度が 40° C 以下に保たれるように、必要に応じて断熱配管を取り付けてください。

DPU および PCIe ファンの取り付けルール

システムの適切な冷却を維持するため、2 プロセッサ構成または 4 プロセッサ構成用に指定された DPU および PCIe ファンオプションを GPU ケージスロットに取り付けてください。



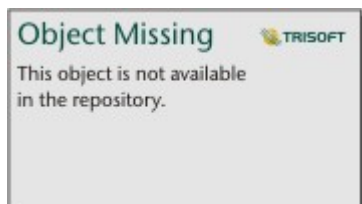
プロセッサ構成	取り付けられる DPU	DPU スロット位置	PCIe ファンスロット位置
2 プロセッサ構成	1 DPU	スロット 5	スロット 6
	2 DPU	スロット 3 および 5	スロット 4 および 6
4 プロセッサ構成	1 DPU	スロット 5	スロット 6
	2 DPU	スロット 5 および 7	スロット 6 および 8
	3 DPU	スロット 5、7、9	スロット 6、8、10
	4 DPU	スロット 3、5、7、9	スロット 4、6、8、10

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケース
2	M.2 スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の LED の定義



注記

ベイ番号は SSD キャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
A	障害または位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色で点滅（1 秒に 1 回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別されていません。
B	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 - RAID の再構築または実行 - 消去
		緑色で点滅（毎秒 4 回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAID コントローラーによる構成は行われていません。

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display (SID) の LED は、システムボードのコンポーネントを表しています。このディスプレイによって、アクセスパネルが取り付けられてもコンポーネントの問題の診断が可能になります。

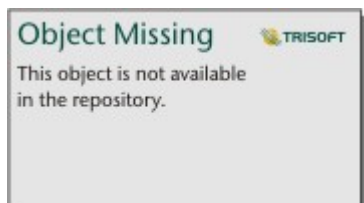


重要

複数の DIMM スロット LED が点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが必要です。他のすべての DIMM を取り外して、DIMM の各バンクをテストしてください。バンクにある各 DIMM を正常に動作している DIMM と交換して、障害のある DIMM を特定してください。

メモリの取り付けルールについては、関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	LED	ステータス	説明
1	電源装置 LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	以下の 1 つ以上の条件が発生 ・ 電源サブシステムの劣化 ・ 電源装置の障害 ・ 入力電源の切断
2	OCP の LED	緑色に点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークにリンクされていません
3	PCI ライザー LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	PCI ライザーケースが正しく取り付けられていません
4	温度超過 LED	消灯	正常

番号	LED	ステータス	説明
		オレンジ色で点灯	高温を検出
5	消費電力上限 LED	緑色に点灯	消費電力上限が適用されます
		消灯	以下の 1 つ以上の条件が発生 ・ システムがスタンバイモード ・ 上限は設定されていません
6	AMP ¹	緑色に点灯	AMP モードが有効です
		オレンジ色で点灯	フェイルオーバー
		オレンジ色で点滅	構成が無効です
		消灯	AMP モードが無効
7	プロセッサ LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	プロセッサに障害が発生しています
8	ファン LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
9	DIMM LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMM に障害が発生しているか、または構成に問題があります
10	DIMM グループ LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMM グループに障害が発生しているか、または構成に問題があります

¹ アドバンスドメモリプロテクション (AMP) を有効にするには、UEFI ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。

フロントパネルのヘルス LED がオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらの LED の組み合わせについては、Systems Insight Display LED の組み合わせについての説明を参照してください。

Systems Insight Display LED の組み合わせについての説明

以下の LED の状態の組み合わせによってシステムのステータスを確認することができます。

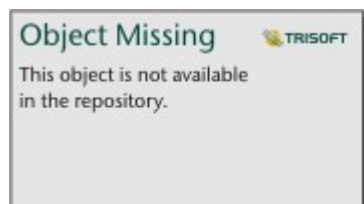
- ・ SID の LED
- ・ システム電源 LED
- ・ ヘルス LED

SID LED ステータス	ヘルス LED ステータス	システム電源 LED ステータス	定義
電源装置（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す 1 つ以上の状態が発生しています。 ・ 取り付けられている電源装置が 1 台のみであり、その電源装置がスタンバイ状態になっています。 ・ 電源装置の障害です。 ・ システムボードの障害。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	以下に示す 1 つ以上の状態が発生しています。 ・ 冗長電源装置が取り付けられており、1 台の電源装置のみが機能しています。 ・ 冗長電源装置に AC 電源コードが接続されていません。 ・ 冗長電源装置の障害です。 ・ POST の実行中に電源装置の不一致が検出されたか、またはホットプラグによる追加のため電源装置が一致しなくなりました。
PCI ライザー（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	PCI ライザーケースが適切に取り付けられていません。
温度超過（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ヘルスドライバーが注意温度レベルを検出しました。
	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	サーバーは、ハードウェアの温度がクリティカルなレベルに達したことを検出しました。
消費電力上限（緑色で点灯）	－	緑色で点灯	電力が使用可能です。

SID LED ステータス	ヘルス LED ステータス	システム電源 LED ステータス	定義
消費電力上限 (緑色で点灯)	－	緑色で点滅	電源投入を待っています
消費電力上限 (オレンジ色で点滅)	－	オレンジ色で点灯	電力が使用できません。
消費電力上限 (消灯)	－	オレンジ色で点灯	スタンバイ
プロセッサ (オレンジ色で点灯)	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す 1 つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 ・ ソケット X のプロセッサに障害が発生しました。 ・ プロセッサ X がソケットに取り付けられていない。 ・ プロセッサ X はサポートされていない。 ・ POST 実行中に、故障したプロセッサを ROM が検出しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ソケット X のプロセッサが障害発生の前段階にあります。
ファン (オレンジ色で点灯)	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	1 つのファンが故障したか取り外されています。
	赤色で点滅	緑色で点灯	2 つ以上のファンが故障したか取り外されています。
DIMM (オレンジ色で点灯)	赤色で点滅	緑色で点灯	1 つ以上の DIMM が故障しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	スロット X の DIMM が障害発生の前段階にあります。

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

標準的なヒートシンクを示します。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサヒートシンクモジュール*
2	傾き防止ワイヤー
3	プロセッサキャリアのリリースタブ
4	ボルスタープレートのガイドポスト
5	ボルスタープレート
6	ヒートシンクのネジ

*このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサに接続されたヒートシンクで構成されています。

セットアップ

初期セットアップ手順、動作要件、および重要な安全性に関する注意事項について説明します。

サブトピック

[HPE インストレーションサービス](#)

[サーバーのセットアップ](#)

[動作要件](#)

[ラックに関する警告と注意事項](#)

[サーバーに関する警告と注意事項](#)

[静電気対策](#)

HPE インストレーションサービス

HPE インストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise 製品、ソフトウェア製品、HPE または HPE 製品販売店によって販売される他のベンダーの HPE サポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレーションサービスは、HPE および HPE サポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計された HPE スペシャリストによる HPE 導入サービスです。

HPE インストレーションサービスには以下の利点があります。

- ・ HPE 認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- ・ 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。

- ・ サービス実施のスケジュール調整。
- ・ お客様は本来の業務に集中することが可能。
- ・ HPE 認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPE インストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記 Web サイトを参照してください：

<https://www.hpe.com/jp/supportservices-tc>

サーバーのセットアップ

前提条件

- ・ ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterprise では、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Management は、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的な Software-as-a-Service プラットフォームです。HPE Compute Ops Management の使用について詳しくは、<https://www.hpe.com/info/com-docs> を参照してください。
 - Intelligent Provisioning のファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioning は、HPE ProLiant サーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioning にアクセスするには、サーバーのブートプロセス中に F10 キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioning のユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>) を参照してください。
 - Service Pack for HPE ProLiant をダウンロードします。SPP は、単一の ISO イメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Manager を展開ツールとして使用します。
 - － 推奨される SPP のダウンロード方法は、<https://www.hpe.com/servers/spp/custom> で SPP カスタムダウンロードを作成することです。

このオプションでは、不要な OS およびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPP のサイズを縮小できます。

- SPP は、<https://www.hpe.com/servers/spp/download> にある SPP ダウンロードページからもダウンロードすることができます。
- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- ・ このサーバーは、タイプ o およびタイプ p ストレージコントローラーオプションをサポートします。ストレージ構成には Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) を使用してください。Intel VROC を使用する予定の場合は、サーバーをセットアップする前に、この重要な情報を確認してください。
- ・ サーバーの動作要件を確認します。
- ・ 安全性とコンプライアンス情報を確認します。
<https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>

手順

- ・ サーバーの箱を開けて内容を確認してください。

- ・ サーバー
- ・ 電源コード
- ・ ラックマウント用ハードウェア部品（オプション）
- ・ ドキュメント

サーバーには、OS メディアは同梱されません。すべてのシステムソフトウェアとファームウェアは、あらかじめサーバーにプリロードされています。

- ・ (オプション) ハードウェアオプションを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ DLC がプリインストールされている場合、DLC モジュールを接続します。
- ・ サーバーの管理方法を決定します。
 - ・ ローカル管理の場合：KVM スイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
 - ・ リモート管理の場合：iLO Web インターフェイスに接続し、リモートコンソールを実行します。
 - a. 次のことを確認します。
 - iLO に、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。
iLO のライセンスがない場合は、HPE の Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- iLO 管理ポートが、安全なネットワークに接続されている。
- b. ブラウザーを使用して、iLO の Web インターフェイスに移動し、ログインします。
`https://<iLO ホスト名または IP アドレス>`
以下の点に注意してください。
 - DHCP サーバーが IP アドレスを割り当てる場合、IP アドレスはブート画面に表示されます。
 - 静的 IP アドレスが割り当てられている場合は、その IP アドレスを使用します。
- c. iLO ログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。
- d. ナビゲーションツリーで：
 - iLO 6 の場合：リモートコンソールおよびメディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。
 - iLO 7 の場合：ホスト > リモートコンソールをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。
- i. 電源ボタンを押します。
リモートで管理する場合は、iLO の仮想電源ボタンを使用します。
- j. サーバーの初期セットアップを構成します。
- k. ストレージをセットアップします。
- l. OS または仮想化ソフトウェアを展開します。
- m. OS のインストール後、ドライバーをアップデートします。
- n. サーバーを登録します。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- ・ 空間および通気要件
- ・ 温度要件
- ・ 電源要件

- ・ アース要件

環境要件については、環境仕様を参照してください。

サブトピック

空間および通気要件

温度要件

電源要件

アース要件

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ・ ラックの前面に 63.50 cm (25.00 インチ)
- ・ ラックの背面に 76.20 cm (30.00 インチ)
- ・ ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に 121.90 cm (48.00 インチ)

次の注意事項に従ってください。

- ・ サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃がすために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。



注意

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。



注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けない棚は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- ・ 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。
 - 正面および背面ドア-42U ラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて 5,350 平方 cm (830 平方インチ) の通気孔 (通気に必要な 64 パーセントの開口部と同等) を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
 - 側面-取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm (2.75 インチ) 以上空けてください。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度 (TMRA) は、35° C (95° F) です。ラックを設置する室内の温度は、35° C (95° F) を超えてはなりません。



注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- ・ 製造元の TMRA を超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition (全国的な電気規約) および NFPA-75, 1992 (電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約) の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電源の定

格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給する AC 電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code 第 250 項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Code に従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364 の第 1 部から第 7 部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterprise では、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDU を使用することをお勧めします。NEMA ロック式プラグまたは IEC 60309 に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は 38.77 kg (85.47 lb) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で 48.75 kg (107.49 lb) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- ・ サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は 38.77 kg (85.47 lb) を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- ・ サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- ・ コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、コンポーネントは 1 つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
- ・ レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、

サーバーに関する警告と注意事項



警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



警告

Energy Pack を取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために：

- ・ Energy Pack を分解したり、つぶしたり、穴を空けたりしないでください。
- ・ 外部接点をショートさせないでください。
- ・ Energy Pack を火や水の中に投じないでください。
- ・ 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Pack を低い空気圧にさらさないでください。
- ・ Energy Pack を 60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が 1 秒から 160 秒間はある可能性があります。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- ・ 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- ・ 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- ・ 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ・ ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- ・ 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
 - 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

選択されたサーバストレージ、セキュリティ、およびサービス機能の概要を説明します。

サブトピック

[iLO サービスポート](#)
[Intel VROC のサポート](#)
[サーバーの UID LED](#)
[モニターのセットアップ](#)
[Systems Insight Display にアクセスする](#)
[Trusted Platform Module 2.0](#)
[Trusted Platform Module 2.0 のガイドライン](#)
[システムバッテリーの情報](#)

iLO サービスポート

iLO サービスポートは、サーバーの前面にある、iLO のラベルが付けられている USB ポートです。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、iLO サービスポートを使用して次のことができます。

- ・ サポートされている USB フラッシュドライブに Active Health System ログをダウンロードします。

この機能を使用する場合、接続されている USB フラッシュドライブにホスト OS はアクセスできません。

- ・ 標準の USB Type A – Type C ケーブルまたは USB Type C – Type C ケーブルを使用してホストシステム（Windows/Mac/Linux ラップトップまたはデスクトップ）を接続し、以下にアクセスします。
 - iLO の Web インターフェイス
 - リモートコンソール
 - iLO RESTful API
 - CLI

iLO サービスポートを使用すると、次のようになります。

- ・ 操作が iLO イベントログに記録されます。
- ・ iLO サービスポートのステータスを示すようにサーバーの UID が点滅します。

REST クライアントと iLO RESTful API を使用して iLO サービスポートのステータスを取得することもできます。

- ・ iLO サービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- ・ iLO サービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- ・ 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

iLO サービスポートについて詳しくは、iLO ユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilo-docs-quicklinks>

Intel VROC のサポート

Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)は、エンタープライズレベルのハイブリッド RAID サポートを提供します。以下の情報に注意してください。

- ・ Intel VROC は、直接接続された NVMe SSD に RAID サポートを提供します。
- ・ Intel VROC ドライバーが必要です。OS 固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/VROC-installation>

- ・ デフォルトでは、Intel VROC RAID サポートは無効になっています。OS 起動前環境では、UEFI システムユーティリティを使用して Intel VROC を有効にし、VROC RAID ボリュームを作成します。これらのタスクは Intelligent Provisioning ではサポートされていません。
- ・ VROC RAID ボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- ・ Intel VROC では、以下のツールを通じた RAID 管理がサポートされています。
 - 任意の OS : UEFI システムユーティリティ
 - Windows : Intel VROC GUI および Intel VROC CLI
 - Linux : `mdadm` CLI

Intel VROC の機能と構成について詳しくは、[ストレージコントローラーの構成](#)を参照してください。

サーバーの UID LED

UID LED を使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちます。また、リモート管理、ファームウェアのアップグレード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サブトピック

サーバーヘルスサマリーの表示

サーバーヘルスサマリーの表示

前提条件

- ・ 外部モニターが接続されています。
- ・ iLO Web インターフェイスのアクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

サーバーの電源が入っていない場合は、UID ボタンを使用すると、iLO のサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源がオンまたはオフのときに使用できます。

詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)にある iLO トラブルシューティングガイドを参照してください。

手順

- ・ UID ボタンを押して放します。



注意

UID ボタンを押して放してください。UID ボタンを 5 秒以上押し続けると、正常な iLO の再起動またはハードウェア iLO の再起動を開始します。ハードウェア iLO 再起動中にデータの損失や NVRAM の破損が発生する可能性があります。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。

- ・ 再度 UID ボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

モニターのセットアップ

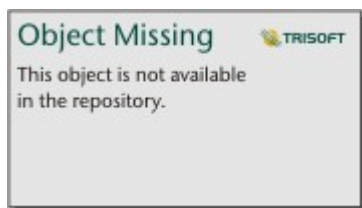
モニターを接続する前に、以下を確認してください。

- ・ このサーバーでは、VGA ポートと DisplayPort 1.1a の両方がサポートされています。
- ・ VGA ポートと DisplayPort の両方を使用して 2 台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方のデバイスにミラーリングされます。
- ・ iLO チップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
- ・ DisplayPort 用に HDMI または DVI アダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。
- ・ 可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターに VGA ポートしかない場合は、サーバーの VGA ポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、または dongle を使用すると、表示品質が低下したり、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

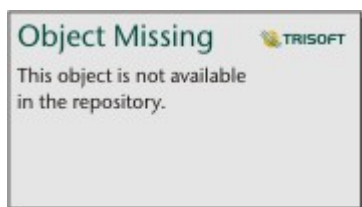
Systems Insight Display にアクセスする

手順

- ・ SID パネルを押してロックを解放します。



- ・ ディスプレイを完全に取り出したら、ディスプレイを回転させ、LED を表示します。



Trusted Platform Module 2.0

Trusted Platform Module 2.0 (TPM) とは :

- ・ システムボードに組み込まれています
- ・ プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます
- ・ 特定のオペレーティングシステム (Microsoft Windows Server 2012 R2 以降など) でサポートされます

オペレーティングシステムサポートについて詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品の QuickSpecs を参照してください。

Microsoft Windows の BitLocker ドライブ暗号化機能について詳しくは、Microsoft の Web サイト (<https://www.microsoft.com>) を参照してください。

Trusted Platform Module 2.0 のガイドライン



注意

- ・ 必ず、このセクションに記載されている TPM のガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- ・ サーバーの変更や OS での TPM のサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPM を使用している OS ですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア (システムボードやドライブなど) の交換、TPM の OS 設定の変更が含まれます。
- ・ OS のインストール後に TPM モードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

- ・ TPM を構成するには、UEFI システムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプションを選択します。詳しくは、UEFI ユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>

- ・ Microsoft Windows BitLocker ドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性が BitLocker が検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- ・ HPE は、TPM の不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

システムバッテリーの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッテリーが内蔵されています。



警告

このバッテリーの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- ・ バッテリーを再充電しないでください。
- ・ バッテリーを 60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。
- ・ 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリーを低い空気圧にさらさないでください。
- ・ バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

ハードウェアオプション

サポートされているハードウェアオプションの取り付け手順と必要な構成情報を提供します。

サブトピック

Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs
ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン
取り付け前の手順
取り付け後の手順
冷却
ドライブ
ドライブケース
Energy Pack
管理
メディアデバイス
メモリ
ネットワーク
OS ブートデバイス
電源装置
プロセッサとヒートシンク
プロセッサメザインタレイオプション
ラックマウントオプション
ライザー
セキュリティ
ストレージコントローラー

Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品の QuickSpecs を参照してください。

- ・ サポートされるオプション
- ・ サポートされている構成
- ・ コンポーネントの互換性
- ・ 新機能
- ・ 仕様
- ・ 部品番号

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterprise ではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- ・ サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- ・ 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ・ ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

取り付け前の手順

サブトピック

サーバーデータバックアップ

サーバーの電源を切る

DLC 延長ホースを取り外す

ラックからサーバーを引き出す

フロントベゼルを取り外す

ラックからサーバーを取り外す

電源装置を取り外す

アクセスパネルを取り外す

エアバッフルを取り外す

ファンケースを取り外す
システムボードバッフルを取り外す
プロセッサメザントレイを取り外す
ファンケーブルアセンブリを取り外す
GPU ケースを取り外す
キャプティブライザーを取り外す
キャプティブライザーケーブルを取り外す

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ・ ユーザーデータファイル
- ・ ユーザーアカウント名とパスワード
- ・ アプリケーションの設定とパスワード
- ・ コンポーネントドライバとファームウェア
- ・ TPM リカバリキー/パスワード
- ・ BIOS 構成設定 - UEFI システムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFI ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよび BIOS 管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply Chain サーバー用) に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品 ID
- ・ iLO 関連データ - iLO バックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLO のユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
 - iLO のライセンス
 - お客様の iLO ユーザー名、パスワード、および DNS 名

- iLO 構成設定

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- ・ 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと OS の制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS 構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- ・ 電源ボタンを 4 秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションと OS を終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- ・ iLO 7 経由の仮想電源ボタンを使用します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと OS を正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源 LED がオレンジ色）になっていることを確認してください。

DLC 延長ホースを取り外す

前提条件

- ・ 直接液冷モジュールコンポーネントを確認します。

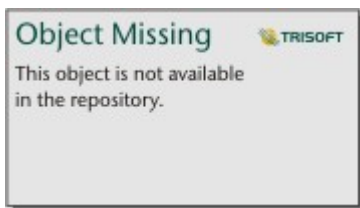
この手順を実行する前に、DLC システムからのクーラントを受け止めるために、小さなハンドタオルまたは容器を用意しておいてください。

このタスクについて

詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guide (<https://www.hpe.com/info/xdDLCguide>) を参照してください。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ サーバーの背面から DLC モジュールを見つけます。
- ・ 延長ホースの下にタオルや容器を置いて、こぼれたクーラントを受け止めます。
- ・ 延長ホースのクイックソケットコネクターを押して引き、DLC モジュールクーラントホースから外します。



- ・ クーラントクイックコネクターキャップを取り付けます。



ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- ・ ラックに関する警告と注意事項を確認します。
- ・ T-25 トルクスドライバー – このツールは、シャーシイヤー内にある輸送用ネジが固定されている場合に必要です。

このタスクについて

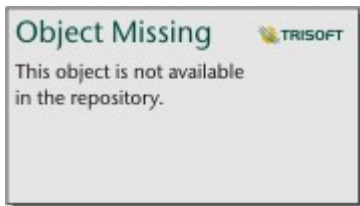


警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。

手順

必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシイヤーラッチを使用して、サーバーをラックからスライドさせて完全に引き出します。



フロントベゼルを取り外す

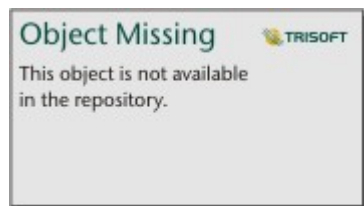
このタスクについて

iLO 仮想電源ボタンを使用してサーバーの電源のオン/オフを切り替えている場合、フロントベゼルを取り外す必要はありません。フロントパネルコンポーネントにアクセスする必要がある場合のみ、フロントベゼルを取り外します。

手順

- 1. Kensington セキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。

詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。



- 2. ベゼルリリースラッチを押してから、ベゼルの回転させて開きます。
- 3. ベゼルの右側をフロントパネルから外します。



ラックからサーバーを取り外す

前提条件

- ・ ラックからの取り外し中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを取り外すために作業者がさらに 2 人必要になる場合があります。1 人がサーバーの重量を支え、別の 2 人がサーバーをスライドさせてラックから引き出します。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部サーバーコンポーネントを取り外してから、サーバーをラックから取り外すことをお勧めします。
- ・ この手順を実行する前に、T-25 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ DLC モジュールが取り付けられている場合は、DLC モジュールから DLC 延長ホースを取り外します。
- ・ 必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシイヤーラッチを使用して、サーバーをラックからスライドさせて完全に引き出します。

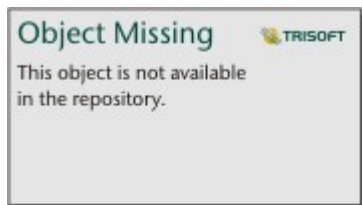


1. リア側のレールリリースラッチを押したまま、サーバーをスライドさせてラックから完全に取り外します。



警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。



2. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。

電源装置を取り外す

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 電源装置を取り外します：
 - a. 電源コード、ワイヤー、ケーブルをストレインリリーフストラップから外します。

- ・ 60-mm M-CRPS

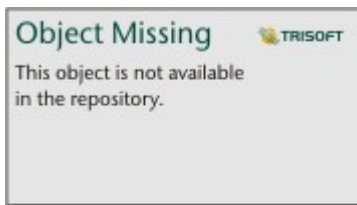


- ・ 73.5-mm M-CRPS

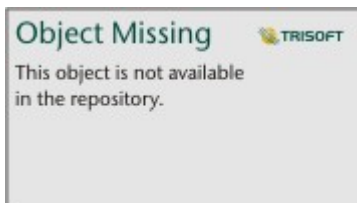


- b. リリースラッチを押したまま、電源装置を取り外します。

- ・ 60-mm M-CRPS



- ・ 73.5-mm M-CRPS



アクセスパネルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



注意

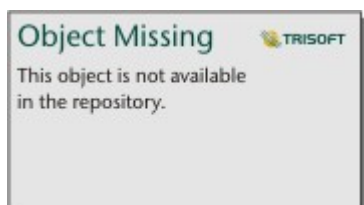
適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60 秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- ・ ヘルス LED がオレンジ色で点滅します。
- ・ オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ 以下のいずれかを実行します。
 - ・ サーバーをラックから引き出します。
 - ・ サーバーをラックから取り外します。

- ・ アクセスパネルを取り外します：
 - a. アクセスパネルのネジを取り外します。
 - b. 必要に応じて、アクセスパネルのラッチをロック解除します。
 - c. シャーシからアクセスパネルを離すには、リリースボタンを押し、ラッチを引き上げます。
 - d. アクセスパネルを引き上げます。



エアバッフルを取り外す

このタスクについて



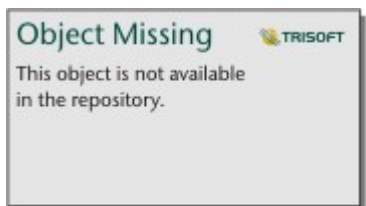
注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

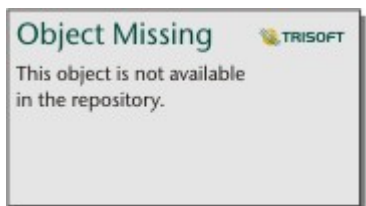
手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ 以下のいずれかを実行します。
 - ・ サーバーをラックから引き出します。
 - ・ サーバーをラックから取り外します。

- 1. アクセスパネルを取り外します。
- 2. リリースラッチを押して、エアバッフルを取り外します。
- 3. 2 プロセッサー構成



- 4. 4 プロセッサー構成



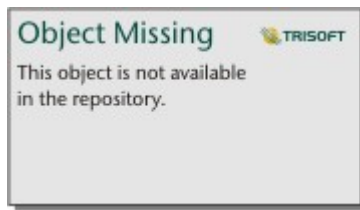
ファンケージを取り外す

手順

- 1. サーバーの電源を切ります。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 4. サーバーをラックから取り外します。
- 5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 6. アクセスパネルを取り外します。
- 7. エアバッフルを取り外します。
- 8. すべてのファンを取り外します。



1. ファンページを取り外します。
 - a. ラッチを開きます。
 - b. ファンページを持ち上げてシャーシから取り外します。



システムボードバッフルを取り外す

このタスクについて



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。

- ・ サーバーをラックから引き出します。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ システムボードバッフルを取り外します。



プロセッサメザンントレイを取り外す

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ ファンケージを取り外します。
- ・ プロセッサメザンントレイのハンドルを完全に開いた位置まで回転させます。



- ・ プロセッサメザニンボードからすべてのケーブルを外します。
- ・ トレイのハンドルを持ってプロセッサメザニントレイをサーバーから取り外します。



ファンケーブルアセンブリを取り外す

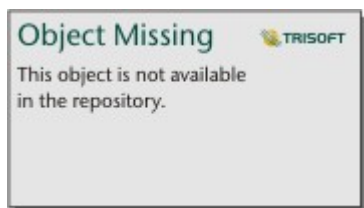
前提条件

- ・ この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ ファンケースを取り外します。
- ・ 取り付けられている場合は、プロセッサメザニントレイを取り外します。

- 1. システムボードからすべてのファンケーブルを抜きます。
- 2. ファンケーブルアセンブリを取り外します。



GPU ケージを取り外す

前提条件

サーバーからの取り外し中は、必ず適切な人数で GPU ケージを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。GPU ケージを持ち上げて保持するには、その重量を支える追加の作業者が必要です。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



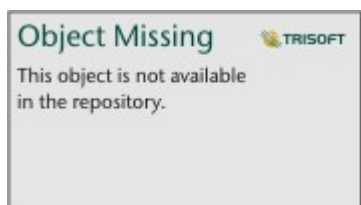
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

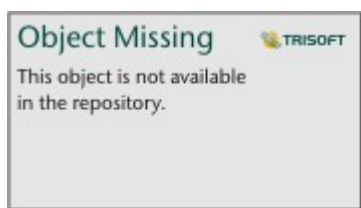
手順

- 1. サーバーの電源を切ります。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜きます。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜きます。
- 3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜きます。
- 4. サーバーをラックから取り外します。

- 1. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 2. アクセスパネルを取り外します。
- 3. エアバッフルを取り外します。
- 4. プロセッサメザントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外します。
 - b. プロセッサメザントレイを取り外します。
- 5. システムボードバッフルを取り外します。
- 6. GPU ケージを取り外します。
 - a. 脱落防止ネジを緩めます。
 - b. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケージの上部と同じ高さになるまで、GPU ケージを持ち上げて保持します。



- c. すべてのキャプティブライザー電源ケーブルをライザーから外します。
- d. すべてのキャプティブライザー信号ケーブルをシステムボードから外します。
- e. GPU ケージをサーバーから取り外します。



- 7. GPU ケージを平らな作業面に置きます。

キャプティブライザーを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外します。
 - b. プロセッサメザントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPU ケージを取り外します。
11. GPU ケージを平らな作業面に置きます。
12. PCIe x16 キャプティブライザーを取り外します。



ライザーをライザーケーブルとともに GPU ケージから取り外します。



キャプティブライザーケーブルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



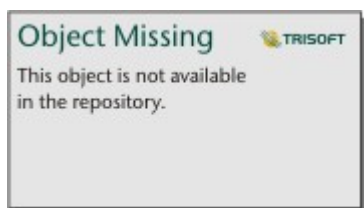
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。

- 1. エアバッフルを取り外します。
- 2. プロセッサメザントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外します。
 - b. プロセッサメザントレイを取り外します。
- 3. システムボードバッフルを取り外します。
- 4. GPU ケージを取り外します。
- 5. GPU ケージを平らな作業面に置きます。
- 6. キャプティブライザーを取り外します。
- 7. キャプティブライザーケーブルを取り外します。



取り付け後の手順

サブトピック

- GPU ケージを取り付ける
- ファンケーブルアセンブリを取り付ける
- プロセッサメザントレイを取り付ける
- ファンケージを取り付ける
- システムボードバッフルを取り付ける
- エアバッフルを取り付ける
- アクセスパネルを取り付ける
- サーバーをラックに取り付ける
- DLC 延長ホースを接続する
- サーバーの電源を入れる

GPU ケージを取り付ける

前提条件

サーバーへの取り付け中は、必ず適切な人数で GPU ケージを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。GPU ケージを取り付ける際には、その重量を支える追加の作業が必要で

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

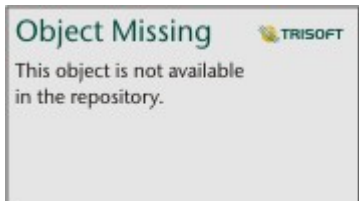


注意

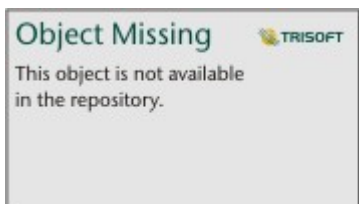
電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. GPU ケージを取り付けます。
 - a. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケーシングの上部と同じ高さになるまで、GPU ケージを保持して配置します。



- b. すべてのキャプティブライザー信号ケーブルをシステムボードから接続します。
 - c. すべてのキャプティブライザー電源ケーブルをライザーから接続します。
 - d. GPU ケージをサーバーに取り付け、固定ネジを締めます。



2. システムボードバッフルを取り付けます。

- ・ 以下が取り外されている場合、次のようにします。
 - a. プロセッサメザントレイを取り付けます。
 - b. ファンケースを取り付けます。
- ・ エアバッフルを取り付けます。
- ・ GPU ケージの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

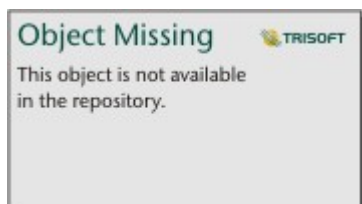
ファンケーブルアセンブリを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- ・ ファンケーブルアセンブリを取り付けます。



- ・ すべてのファンケーブルをシステムボードに接続します。
- ・ ファンケースを取り付けます。
- ・ ファンケーブルアセンブリの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

プロセッサメザントレイを取り付ける

手順

- ・ プロセッサメザントレイを取り付けます。



- 取り外していたすべてのケーブルをプロセッサメザニボードに接続します。
- 所定の位置にロックされるまで、プロセッサメザニトレイのハンドルを押し下げます。

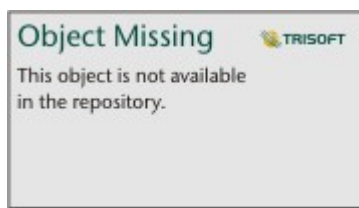


- ファンページを取り付けます。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- プロセッサメザニトレイの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

ファンページを取り付ける

手順

- ファンページを取り付けます。
 - a. ファンページをシャーシ内に下げます。
 - b. ラッチを閉じます。



すべてのファンを取り付けます。

- a. ファンをファンベイに下ろします。
- b. ファンモジュールを押し下げて、ベイにしっかりと固定されていることを確認します。

クリック音は、ファンが適切にかみ合っていることを示します。



ファンページの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

システムボードバッフルを取り付ける

このタスクについて

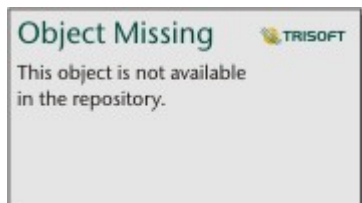


注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

手順

システムボードバッフルを押し下げて、所定の位置に正しく収まっていることを確認します。クリック音は、リリースラッチが適切にかみ合っていることを示します。



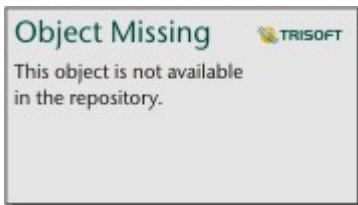
システムボードバッフルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

エアバッフルを取り付ける

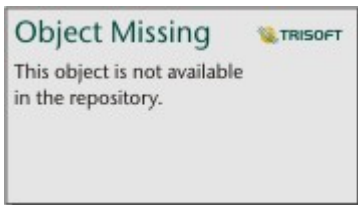
手順

- すべての内部ケーブルが適切に配線されていて、エアバッフルを取り付ける妨げになっていないことを確認します。
- エアバッフルを押し下げて、所定の位置に正しく収まっていることを確認します。クリック音は、リリースラッチが適切にかみ合っていることを示します。

- ・ 2 プロセッサ構成



- ・ 4 プロセッサ構成



- アクセスパネルを取り付けます。
- エアバッフルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

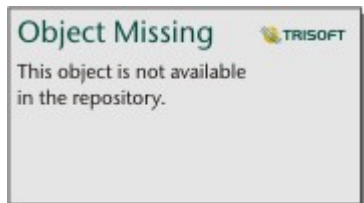
アクセスパネルを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- ・ アクセスパネルのラッチを開けたまま、ラッチの下部にある穴に、シャーシ上のガイドピンを挿入します。
- ・ アクセスパネルのラッチを閉じます。
アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。
- ・ アクセスパネルのラッチをロックします。
- ・ アクセスパネルのネジを取り付けます。



- ・ アクセスパネルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

サーバーをラックに取り付ける

前提条件

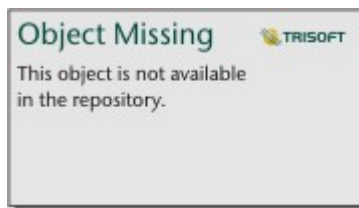
- ・ ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [空間および通気要件](#)
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- ・ この手順を実行する前に、T-25 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. レールをロック位置まで完全に伸ばします。

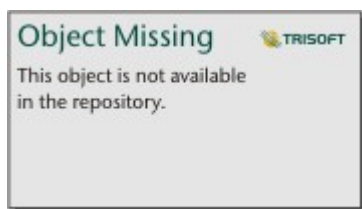


2. サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
 - b. 後端のレールリリースラッチを押したまま、シャーシヤーがラックのポストにぴったりくっつくまでサーバーをラック内にスライドさせます。



3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
4. 各電源コードをサーバーに接続します。
5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
6. ケーブルマネジメントアームが開いていた場合は、アームを閉じた位置に戻し、CMA 固定ブラケットをマウンティングレールに挿入します。

ブラケットが所定の位置にロックされたことを示すカチッという音がします。



DLC 延長ホースを接続する

前提条件

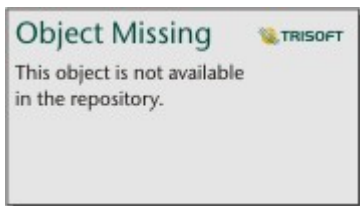
- ・ 直接液冷モジュールコンポーネントを確認します。
- ・ DLC 延長ホースセット (P62042-B21) はマニホールドラックに取り付けられていることを確認してください。

このタスクについて

詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guide (<https://www.hpe.com/info/xdDLCguide>) を参照してください。

手順

1. サーバーの背面から DLC モジュールを見つけます。
2. クーラントクイックコネクタキャップを取り外します。



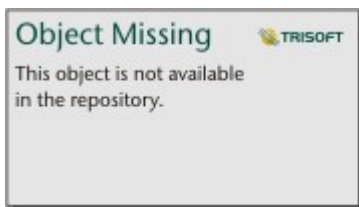
3. DLC マニホールドから DLC モジュールをサーバーに接続します。



警告

システムの不十分な冷却を防ぐため、クーラントクイックコネクタと延長ホースをそれぞれ同じ色のペアにして接続します。

- a. DLC 延長ホースのクイックソケットコネクタと DLC モジュールクーラントホースのクイックプラグコネクタの位置を合わせます。
- b. DLC 延長ホースのクイックソケットコネクタを押して引きます。



- c. DLC モジュールクーラントホースのプラグコネクタを延長ホースのクイックソケットコネクタに接続し、次にクイックソケットコネクタを放します。

クリック音は、クイックコネクターが適切にかみ合っていることを示します。



サーバーの電源を入れる

手順

- ・ 電源ボタンを押します。
- ・ iLO 7 経由の仮想電源ボタンを使用します。

冷却

サブトピック

PCIe ファンの取り付け
構成済みサーバーに DLC モジュールを接続する

PCIe ファンの取り付け

前提条件

- ・ DPU および PCIe ファンの取り付けルールを確認します。
- ・ 以下のアイテムが揃っていることを確認してください。
 - T-15 トルクスドライバー
 - T-10 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

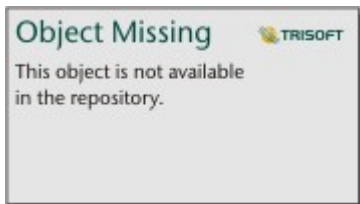
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

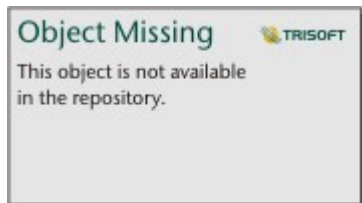
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. PCIe スロットブランクを取り外します。



8. DPU を取り付けます。
9. PCIe ファン速度制御ケーブルを取り外し、ケーブルをケーブルクリップに通します。



10. PCIe ファンを取り付けます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

構成済みサーバーに DLC モジュールを接続する

前提条件

- ・ 直接液冷モジュールコンポーネントを確認します。
- ・ DLC 延長ホースセット (P62042-B21) がラックに取り付けられていることを確認してください。

このタスクについて

この手順は、DLC モジュールがプライマリライザーケースのスロット 1 に既に取り付けられて出荷された、構成済みサーバーをセットアップする場合に必要です。ホースセットは、DLC マニホールドをプロセッサのコールドプレートに接続します。

詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guide (<https://www.hpe.com/info/xdDLCguide>) を参照してください。

手順

- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ サーバー背面でクイックコネクターを見つけます。

クーラントクイックコネクターキャップを取り外します。



DLC マニホールドから DLC モジュールをサーバーに接続します。



警告

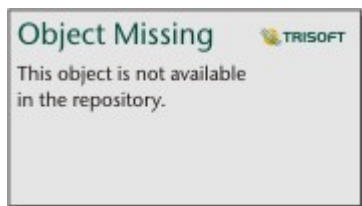
システムの不十分な冷却を防ぐため、クーラントクイックコネクターと延長ホースをそれぞれ同じ色のペアにして接続します。

- a. DLC 延長ホースのクイックソケットコネクターと DLC モジュールクーラントホースのクイックプラグコネクターの位置を合わせます。
- b. DLC 延長ホースのクイックソケットコネクターを押して引きます。



- c. DLC モジュールクーラントホースのプラグコネクターを延長ホースのクイックソケットコネクターに接続し、次にクイックソケットコネクターを放します。

クリック音は、クイックコネクターが適切にかみ合っていることを示します。



ドライブ

サブトピック

ドライブの取り付けのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- ・ システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

- ・ ドライブを 1 台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。
ドライブ番号については、ドライブベイの番号を参照してください。
- ・ このサーバーは、ドライブタイプの混在をサポートしていません。
- ・ NVMe ドライブを取り付ける場合は、同じタイプのドライブを取り付けてください。NVMe ドライブの混在はサポートされていません。
- ・ すべてのドライブを同じドライブアレイにまとめる場合は、以下の基準を満たす必要があります。
 - すべてのハードディスクドライブ、またはすべてがソリッドステートドライブでなければなりません。
 - ストレージの容量効率を最大限に高めるには、各ドライブを同じ容量にしてください。

ホットプラグ対応 SFF（2.5 型）SAS、SATA、または NVMe ドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

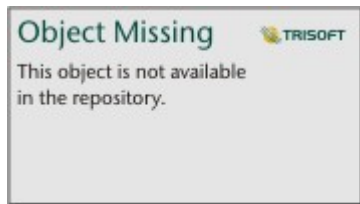
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

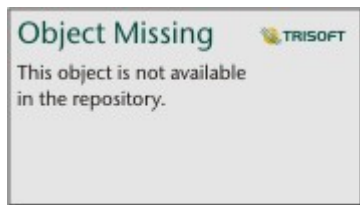
1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。

2. ドライブブランクを取り外します。

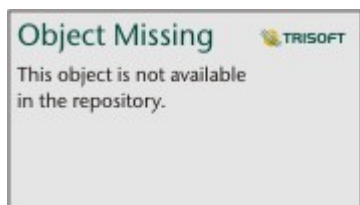
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



3. ドライブを準備します。



4. ドライブを取り付けます。



- ・ ドライブ LED の定義から、ドライブのステータスを確認します。
- ・ 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- ・ ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

E3. S ドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



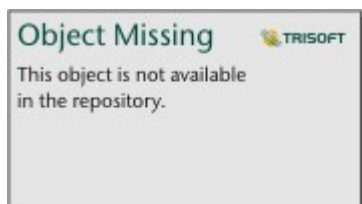
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

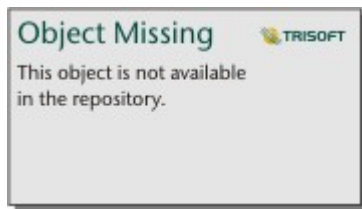
手順

- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ ドライブの LED ステータスを確認し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
- ・ ドライブブランクを取り外します。

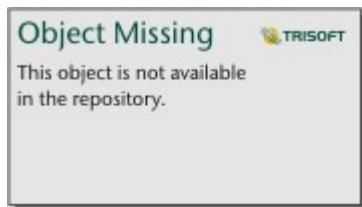
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



- ドライブを準備します。



- ドライブを取り付けます。



- ドライブ LED の定義から、ドライブのステータスを確認します。
- 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブケース

サブトピック

スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブケースの取り付け
8 SFF (2.5 型) ドライブケースの取り付け
8 E3.S ドライブケースの取り付け

スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



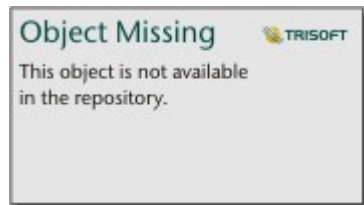
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブのユニバーサルメディアベイへの取り付け

1. スタックしたドライブケースの下側にグロメットを取り付けます。



2. オプティカルドライブトレイを取り外します。

- a. オプティカルドライブトレイのネジを取り外します。
- b. ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブトレイを取り外します。

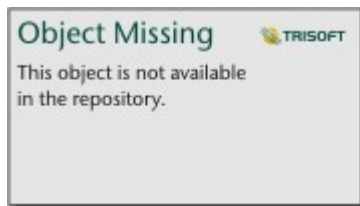


3. 2 SFF (2.5 型) ドライブブランクを取り外します。

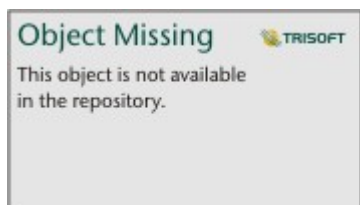
- a. ブランクのネジを取り外します。
- b. ユニバーサルメディアベイからドライブブランクを取り外します。



- ④ スタックしたフロント 2 SFF (2.5 型) ドライブケースを取り付けます。
 - a. スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブケースをユニバーサルメディアベイに取り付けます。
 - b. スタックしたドライブケースのネジを取り付けます。



- ④ オプティカルドライブトレイを取り付けます。
 - a. ユニバーサルメディアベイにオプティカルドライブベイを取り付けます。
 - b. オプティカルドライブベイのネジを取り付けます。



ユニバーサルメディアベイのサーバーへの取り付け

- ① すべてのサーバーデータをバックアップします。

- ② サーバーの電源を切ります。
- ③ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ④ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ⑤ サーバーをラックから取り外します。
- ⑥ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。

- 1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- 2. アクセスパネルを取り外します。
- 3. エアバッフルを取り外します。
- 4. ファンケースを取り外します。
- 5. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
- 6. システムボードバッフルを取り外します。
- 7. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- 8. サーバーにユニバーサルメディアベイを取り付けます。
- 9. 以下のケーブルを接続します。
 - ・ ストレージコントローラーケーブル
 - ・ ドライブ電源ケーブル
- 10. ユニバーサルメディアベイケーブルをシステムボードに接続します。
- 11. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
- 12. システムボードバッフルを取り付けます。
- 13. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
- 14. ファンケースを取り付けます。
- 15. エアバッフルを取り付けます。
- 16. アクセスパネルを取り付けます。
- 17. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- 18. サーバーをラックに取り付けます。
- 19. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 20. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 21. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 22. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF（2.5 型）ドライブケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ T-10 トルクスドライバー
- ・ T-15 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



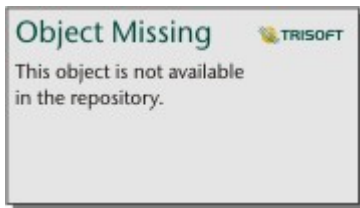
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

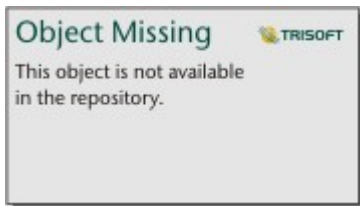
手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
7. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
8. アクセスパネルを取り外します。
9. エアバッフルを取り外します。
10. ファンケースを取り外します。
11. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。

- システムボードバッフルを取り外します。
- ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- ドライブボックスブランクを取り外します。



- ケースをドライブボックスにスライドさせて、ドライブケースネジを取り付けます。



- 以下のケーブルを接続します。
 - ストレージコントローラーケーブル
 - ドライブ電源ケーブル
- ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
- システムボードバッフルを取り付けます。
- 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
- ファンケースを取り付けます。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- サーバーをラックに取り付けます。
- 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 各電源コードをサーバーに接続します。
- 各電源コードを電源ソースに接続します。
- サーバーの電源を入れます。

- ・ SFF (2.5 型) ドライブを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 E3. S ドライブケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

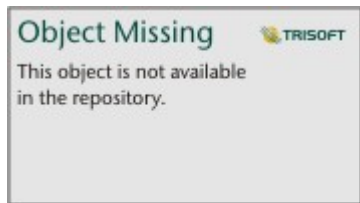
- ・ T-10 トルクスドライバー
- ・ T-15 トルクスドライバー

手順

- ・ すべてのサーバーデータをバックアップします。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ ファンケースを取り外します。
- ・ 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
- ・ システムボードバッフルを取り外します。
- ・ ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- ・ ドライブボックスブラנקを取り外します。



- 8 E3. S ドライブケースを取り付けます。



- 以下のケーブルを接続します。

- ・ ストレージコントローラーケーブル
- ・ ドライブ電源ケーブル

- ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

- システムボードバッフルを取り付けます。

- 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。

- ファンケースを取り付けます。

- エアバッフルを取り付けます。

- アクセスパネルを取り付けます。

- 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

- サーバーをラックに取り付けます。

- 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

- 各電源コードをサーバーに接続します。

- 各電源コードを電源ソースに接続します。

- サーバーの電源を入れます。

- E3. S ドライブを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

Energy Pack

サブトピック

HPE Smart ストレージバッテリー
HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター
Energy Pack を取り付ける

HPE Smart ストレージバッテリー

1 個の 96 W バッテリーで最大 24 のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で 2 時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、260 mm ケーブル付き 96 W HPE Smart ストレージバッテリーをサポートします。

詳しくは、HPE Smart ストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターの QuickSpecs を参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター

コンデンサーパックは、最大 3 つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、260 mm ケーブル付き 12 W または 16 W HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステム BIOS が満たしていることを確認します。



重要

システム BIOS またはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

詳しくは、HPE Smart ストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターの QuickSpecs を参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

サブトピック

最小ファームウェアバージョン

最小ファームウェアバージョン

製品	最小ファームウェアバージョン
サーバーシステム ROM	1.42
HPE MR タイプ o およびタイプ p Gen11 コントローラー	52.24.3-4948

Energy Pack を取り付ける

このタスクについて

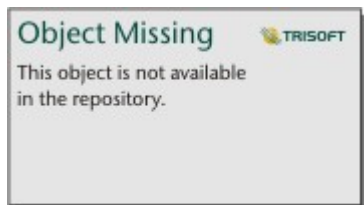


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- 1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
- 2. サーバーの電源を切ります。
- 3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 5. サーバーをラックから取り外します。
- 6. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 7. アクセスパネルを取り外します。
- 8. エアバッフルを取り外します。
- 9. ファンケースを取り外します。
- 10. 取り付けられている場合は、プロセッサーメザントレイを取り外します。
- 11. システムボードバッフルを取り外します。
- 12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- 13. Energy Pack を取り付けます。



- 14. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
- 15. システムボードバッフルを取り付けます。
- 16. 取り外されている場合は、プロセッサーメザントレイを取り付けます。
- 17. ファンケースを取り付けます。
- 18. エアバッフルを取り付けます。
- 19. アクセスパネルを取り付けます。
- 20. サーバーをラックに取り付けます。

- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

管理

サブトピック

System Insight Display の取り付け

System Insight Display の取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



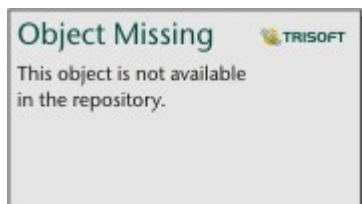
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

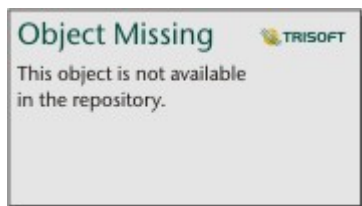
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 1. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 2. サーバーをラックから取り外します。
- 3. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 4. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- 5. アクセスパネルを取り外します。
- 6. エアバッフルを取り外します。
- 7. ファンケースを取り外します。
- 8. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
- 9. システムボードバッフルを取り外します。
- 10. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- 11. 右側の DIMM ガードを取り外します。



- 12. SID ブランクを取り外します。

ネジは保管しておいてください。このネジは、SID を固定するために使用されます。



- 13. サーバー前面の開口部を通して SID ケーブルを配線し、SID を取り付けます。

SID ケーブルははさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。



- 1. SID ケーブルをシステムボードに接続します。
- 2. 右側の DIMM ガードを取り付けます。



- 3. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
- 4. システムボードバッフルを取り付けます。
- 5. 取り外されている場合は、プロセッサメザニントレイを取り付けます。
- 6. ファンケースを取り付けます。
- 7. エアバッフルを取り付けます。
- 8. アクセスパネルを取り付けます。
- 9. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- 10. サーバーをラックに取り付けます。
- 11. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メディアデバイス

サブトピック

ユニバーサルメディアベイの取り付け

ユニバーサルメディアベイへのオプティカルドライブの取り付け

ユニバーサルメディアベイの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ T-10 トルクスドライバー
- ・ T-15 トルクスドライバー

このタスクについて

サーバーは、次を備えたボックス 1 のユニバーサルメディアベイをサポートします。

- ・ オプティカルドライブベイ
- ・ USB 2.0 ポート
- ・ DisplayPort 1.1a
- ・ スタックされた 2 SFF (2.5 型) ドライブケージ



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

サーバーをラックから取り外します。

サーバーを平らで水平な作業台に置きます。

取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。

アクセスパネルを取り外します。

エアバッフルを取り外します。

ファンケースを取り外します。

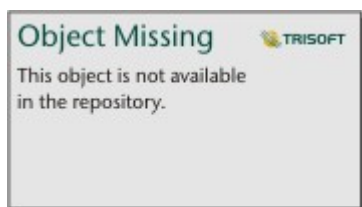
取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。

システムボードバッフルを取り外します。

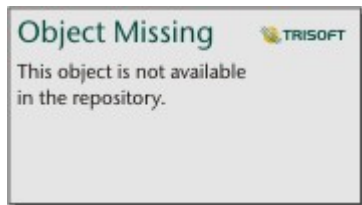
ファンケーブルアセンブリを取り外します。

(オプション) スタックしたフロント 2 SFF (2.5 型) ドライブケースをユニバーサルメディアベイに取り付けます。

ドライブボックスブラックを取り外します。



ユニバーサルメディアベイのすべてのケーブルをドライブボックス 1 に通し、ユニバーサルメディアベイをスライドさせて、2 本のネジで固定します。



ユニバーサルメディアベイケーブルをシステムボードに接続します。

(オプション) オプティカルドライブを取り付けます。

ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

システムボードバッフルを取り付けます。

- 1. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
- 2. ファンケースを取り付けます。
- 3. エアバッフルを取り付けます。
- 4. アクセスパネルを取り付けます。
- 5. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- 6. サーバーをラックに取り付けます。
- 7. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ユニバーサルメディアベイへのオプティカルドライブの取り付け

前提条件

- ・ オプティカルドライブの取り付けには、オプティカルドライブのケーブルオプション (P73776-001) が必要です。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

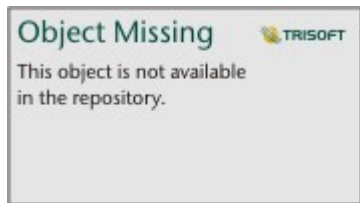
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケースを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。
14. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブブランクを取り外します。



ユニバーサルベイにオプティカルドライブを取り付けます。



オプティカルドライブのケーブルをシステムボードに接続します。

ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

システムボードバッフルを取り付けます。

取り外されている場合は、プロセッサメザインタレイを取り付けます。

ファンケースを取り付けます。

エアバッフルを取り付けます。

アクセスパネルを取り付けます。

取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

各電源コードをサーバーに接続します。

各電源コードを電源ソースに接続します。

サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリ

サブトピック

HPE Smart メモリの速度と取り付け情報
DIMM の取り付けに関するガイドライン
プロセッサメザニンボードへの DIMM の取り付け
システムボードへの DIMM の取り付け

HPE Smart メモリの速度と取り付け情報

Intel Xeon 6 プロセッサを使用した HPE サーバーのメモリ速度とサーバー固有の DIMM 取り付けルールについては、次の関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

DIMM の取り付けに関するガイドライン

DIMM を取り扱うときは、次のことに従ってください。

- ・ 静電気防止の注意事項に従ってください。
- ・ DIMM は両端だけを持つようにしてください。
- ・ DIMM の両側のコンポーネントに触れないでください。
- ・ DIMM の下部にあるコネクタに触れないでください。
- ・ DIMM を握るようにして持たないでください。
- ・ DIMM を決して曲げたり、収縮させないでください。

DIMM を取り付けるときは、次のことに従ってください。

- ・ DIMM の位置を合わせて固定する際は、2 本の指で DIMM の両端を持つようにしてください。
- ・ DIMM を取り付けするには、DIMM の上部にそって 2 本の指で軽く押しつけます。

詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/DIMM-20070214-CN>) を参照してください。

プロセッサメザニンボードへの DIMM の取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [DIMM の取り付け情報](#)
 - [DIMM の取り付けに関するガイドライン](#)

このタスクについて



注意

同じサーバーにデータ幅が x4 と x8 の DRAM を取り付けないでください。サーバーに取り付けられるすべてのメモリは、タイプが同じである必要があります。異なるタイプの DIMM を取り付けると、BIOS の初期化中にサーバーが停止する可能性があります。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての DIMM スロットに DIMM または DIMM ブランクが取り付けられていない限り、サーバーを動作させないでください。



注意

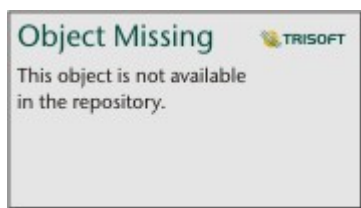
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、[静電気防止の注意事項](#)に従ってください。

手順

1. [サーバーの電源を切ります](#)。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

- 1. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ サーバーをラックから引き出します。
 - ・ サーバーをラックから取り外します。
- 2. アクセスパネルを取り外します。
- 3. エアバッフルを取り外します。
- 4. DIMM を取り付けます。
 - a. DIMM スロットのラッチを開きます。
 - b. DIMM 下端のノッチを DIMM スロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMM をスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

DIMM スロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMM をスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMM の向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



- 5. エアバッフルを取り付けます。
- 6. アクセスパネルを取り付けます。
- 7. サーバーをラックに取り付けます。
- 8. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. サーバーの電源を入れます。
- 12. メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

システムボードへの DIMM の取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [DIMM の取り付け情報](#)
 - [DIMM の取り付けに関するガイドライン](#)

このタスクについて



注意

同じサーバーにデータ幅が x4 と x8 の DRAM を取り付けないでください。サーバーに取り付けられるすべてのメモリは、タイプが同じである必要があります。異なるタイプの DIMM を取り付けると、BIOS の初期化中にサーバーが停止する可能性があります。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての DIMM スロットに DIMM または DIMM ブランクが取り付けられていない限り、サーバーを動作させないでください。



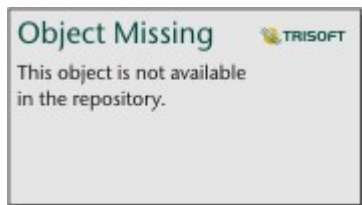
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、[静電気防止の注意事項](#)に従ってください。

手順

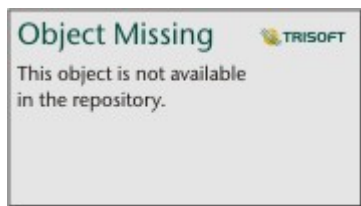
- ・ [サーバーの電源を切ります](#)。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

- 1. サーバーをラックから取り外します。
- 2. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 3. アクセスパネルを取り外します。
- 4. エアバッフルを取り外します。
- 5. プロセッサメザニントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外します。
 - b. プロセッサメザニントレイを取り外します。
- 6. システムボードバッフルを取り外します。
- 7. DIMM ブランクを取り外します。



- 8. DIMM を取り付けます。
 - a. DIMM スロットのラッチを開きます。
 - b. DIMM 下端のノッチを DIMM スロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMM をスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

DIMM スロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMM をスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMM の向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



- 9. システムボードバッフルを取り付けます。
- 10. 以下が取り外されている場合、
 - a. プロセッサメザニントレイを取り付けます。
 - b. ファンケージを取り付けます。

- ・ エアバッフルを取り付けます。
- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ネットワーク

サブトピック

OCP NIC の取り付け

GPU ケージへの PCIe NIC の取り付け

OCP NIC の取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - OCP 帯域幅アップグレードケーブルキット：
 - － スロット 14 OCP A PCIe5 x8 または x16 構成の場合 – P80427-B21
 - － スロット 15 OCP B PCIe5 x8 から x16 構成の場合 – P80428-B21

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザンントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケースを取り外します。
 - b. プロセッサメザンントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPU ケージを取り外します。
11. OCP スロットブランクを取り外します。



1. OCP NIC を取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、OCP NIC をスロットにスライドさせます。

OCP NIC がスロットにしっかりと固定されていることを確認します。

- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



1. OCP 帯域幅アップグレードケーブルを接続します。

1. GPU ケージを取り付けます。

1. システムボードバッフルを取り付けます。

1. 以下が取り外されている場合、次のようにします。

- a. プロセッサメザントレイを取り付けます。
- b. ファンケージを取り付けます。

1. ファンケージを取り付けます。

1. アクセスパネルを取り付けます。

1. サーバーをラックに取り付けます。

1. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

1. 各電源コードをサーバーに接続します。

1. 各電源コードを電源ソースに接続します。

1. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPU ケージへの PCIe NIC の取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。
- ・ GPU ケージに DPU を取り付ける場合：
 - DPU および PCIe ファンの取り付けルールを確認します。
 - 以下のアイテムが揃っていることを確認してください。
 - HPE OCP Thermal Enhancement Kit (P28727-B21)
 - DPU ケーブル (P85004-B21)

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。

- ・ サーバーをラックから引き出します。
- ・ サーバーをラックから取り外します。

サーバーを平らで水平な作業台に置きます。

アクセスパネルを取り外します。

PCIe スロットブランクを取り外します。



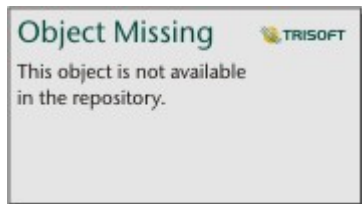
PCIe NIC アダプターを GPU ケージに取り付けます。



注意

ライザースロットを損傷しないように、カードは真っ直ぐに均等な圧力で取り付けまたは取り外ししてください。カードの取り外しまたは取り付けをする際は、曲げたり、ねじったり、無理な力を加えたりしないでください。

拡張カードがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



すべての必要な内部ケーブルを PCIe NIC アダプターに接続します。

DPU を取り付ける場合：

- a. DPU 補助電源ケーブルを接続します。
- b. PCIe ファンを取り付けます。

アクセスパネルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OS ブートデバイス

サブトピック

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 オプション

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 オプション

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 は 2 つの場所に取り付けることができます。

- ・ SFF (2.5 型) または E3.S ドライブケースがドライブボックス 4 に取り付けられていない場合は、ブートデバイスをフロントパネルのドライブボックス 4 に取り付けます。
- ・ SFF (2.5 型) または E3.S ドライブケースがドライブボックス 4 に取り付けられている場合は、ブートデバイスをリアパネルの電源装置ベイに取り付けます。

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 オプションに関する次の情報に注意してください。

- ・ HPE NS204i-u V2 NVMe ホットプラグ対応ブート最適化ストレージデバイスは、ホットプラグ対応 2280 M.2 NVMe SSD を 2 台搭載した PCIe カスタムフォームファクターモジュールです。
- ・ このブートデバイスを使用すると、展開された OS を専用のハードウェア RAID 1 を介してミラーリングできます。
- ・ ブートデバイスは起動時に RAID 1 ボリュームを自動的に作成します。これは、ブートデバイスがそれ以上の RAID 構成を必要としないことを意味します。
- ・ このブートデバイスは、次のネイティブ OS と互換性があります。
 - Windows
 - Linux

- VMware

- ・ このブートデバイスは、ネイティブインボックス OS NVMe ドライバーを使用します。

サブトピック

フロントパネルへの HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の取り付け
リアパネルへの HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の取り付け

フロントパネルへの HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の取り付け

前提条件

- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

- ・ 最新の iLO ファームウェアとサーバーの BIOS バージョンを実行していることを確認してください。
- ・ HPE NS204i-u ブートデバイス V2 コンポーネントを特定します。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - フロント NS204i-u イネーブルメントオプション (P79031-B21)
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、サーバーすべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからを動作させてください。



重要

RAID 1 構成を正常に行うには、ブートデバイスの SSD のモデル番号とファームウェアバージョンが同じであることを確認します。

- ・ iLO Web インターフェイスで、ストレージページを参照してください。
- ・ UEFI システムユーティリティで、システム構成 > HPE NS204i Boot Controller > Physical Device Information を参照します。

異なるメーカーの SSD を使用した構成はサポートされていません。

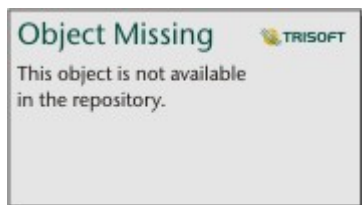
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。

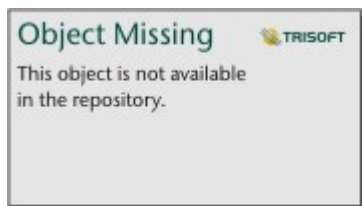
- 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
- システムボードバッフルを取り外します。
- ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- ブートデバイスをケージに取り付けます。



- ブートデバイスに信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。
- ドライブボックスブラックを取り外します。



- ブートデバイスケージをサーバーに取り付けます。



- ブートデバイスの信号ケーブルと電源ケーブルをシステムボードに接続します。
- ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
- システムボードバッフルを取り付けます。
- 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
- ファンケージを取り付けます。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ ブートデバイス上のオンライン/アクティビティ LED が緑色で点灯していることを確認します。
- ・ サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。
- ・ OS のインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの 2 番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。

通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

リアパネルへの HPE NS204i-u ブートデバイス V2 の取り付け

前提条件

- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- ・ 最新の iLO ファームウェアとサーバーの BIOS バージョンを実行していることを確認してください。
- ・ HPE NS204i-u ブートデバイス V2 コンポーネントを特定します。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - リア NS204i-u イネーブルメントオプション (P80440-B21)
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、サーバーすべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからを動作させてください。



重要

RAID 1 構成を正常に行うには、ブートデバイスの SSD のモデル番号とファームウェアバージョンが同じであることを確認します。

- ・ iLO Web インターフェイスで、ストレージページを参照してください。
- ・ UEFI システムユーティリティで、システム構成 > HPE NS204i Boot Controller > Physical Device Information を参照します。

異なるメーカーの SSD を使用した構成はサポートされていません。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外します。

b. プロセッサメザントレイを取り外します。

システムボードバッフルを取り外します。

GPU ケージを取り外します。

ブートデバイストレイをサーバーから取り外します。

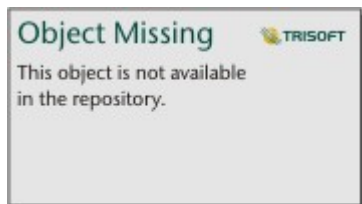


ブートデバイスブランクをトレイから取り外します。

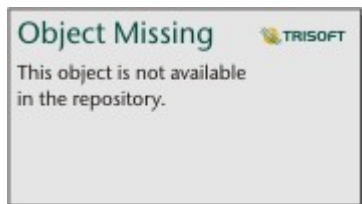


ブートデバイスにブラケットを取り付けます。

ブートデバイスをトレイに取り付けます。



ブートデバイスバッフルをトレイに取り付けます。



ブートデバイスに信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。

ブートデバイストレイをサーバーに取り付けます。



ブートデバイスの信号ケーブルと電源ケーブルをシステムボードに接続します。

GPU ケージを取り付けます。

システムボードバッフルを取り付けます。

以下が取り外されている場合、次のようにします。

a. プロセッサメザニントレイを取り付けます。

b. ファンケージを取り付けます。

エアバッフルを取り付けます。

アクセスパネルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

各電源コードをサーバーに接続します。

各電源コードを電源ソースに接続します。

サーバーの電源を入れます。

ブートデバイス上のオンライン/アクティビティ LED が緑色で点灯していることを確認します。

サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。

OS のインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの 2 番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。

通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

電源装置

サブトピック

電源装置オプション

電源装置オプション

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーはサポートされる電源装置のいずれかで構成されます。

サブトピック

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

電源装置に関する警告と注意事項

DC 電源装置に関する警告と注意事項

DC 電源装置のワイヤーの色

電源装置のガイドライン

AC 電源装置の取り付け

73.5-mm DC 電源装置の取り付け

DC 電源ケーブルの DC 電源への接続

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power Advisor の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- ・ 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- ・ 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- ・ 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- ・ 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告

感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意

異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります：

- ・ 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- ・ システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

DC 電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電の危険を減らすため、必ずケーブルのアースキットを正しく取り付け、適切な保護用アース端子に接続してから、ラックに電源を接続してください。



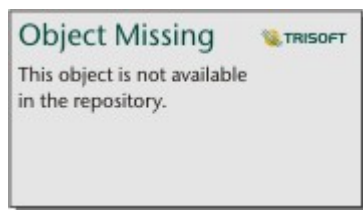
注意

この装置は、DC 供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

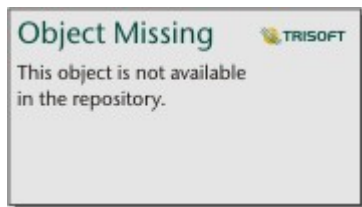
- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ この装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置する必要があります。DC システムは、別の場所でアースされている必要があります。
- ・ DC 供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- ・ スイッチや電源切断用のデバイスは、DC 供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

DC 電源装置のワイヤーの色

- ・ 60-mm M-CRPS



- ・ 73.5-mm M-CRPS

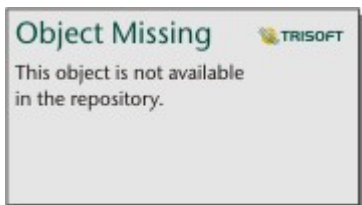


ワイヤーの色	説明	ワイヤースロット
赤色	ラインワイヤー	-48V
黒色	リターンワイヤー	Return
緑色+黄色	アース用ワイヤー	安全アース

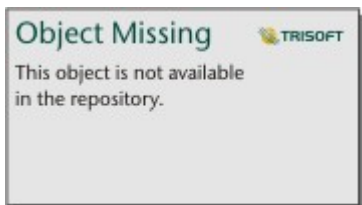
電源装置のガイドライン

プロセッサ構成に応じて、サーバーは1つ、2つ、または4つの電源装置の取り付けをサポートします。

2 電源装置構成



4 プロセッサ構成



システムドメインとプロセッサメザニンドメインには2つの電源装置があり、1+1冗長性と1+0 / 2+0非冗長性をサポートします。

- ・ 1+1冗長性では、1つの電源装置に障害が発生した場合：

- システムは非冗長電力モードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
- システムヘルス LED がオレンジ色に点滅します。
- ・ 1+0 または 2+0 の非冗長性では、電源装置の冗長性はありません。サーバーは、冗長性が供給できるよりも多くの電源を消費し、1 台以上の電源装置が故障すると、オペレーティングシステムのシャットダウンを開始します。

AC 電源装置の取り付け

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、以下の記載をお読みください。

- ・ [電源装置に関する警告と注意事項](#)
- ・ [電源装置のガイドライン](#)

このタスクについて

60-mm および 73.5-mm モジュラーハードウェアシステム共通冗長電源装置 (M-CRPS) の取り付け手順は同じです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラック、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

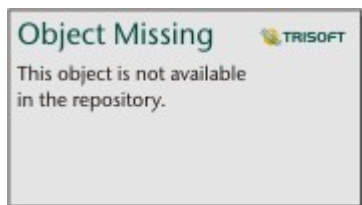


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラックのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

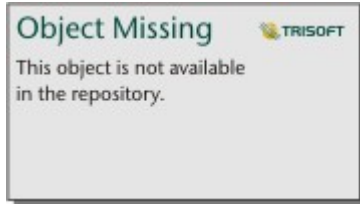
手順

- ・ 電源装置ベイのブラックを取り外します。

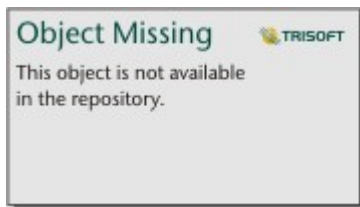


電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。

- ・ 60-mm M-CRPS



- ・ 73.5-mm M-CRPS



電源コードを電源装置に接続します。



警告

感電や装置の損傷を防止するために、電源装置を取り付ける前に、電源コードを電源装置に接続しないでください。



重要

設備の電力位相のバランスが取れていることを確認してください。バランスが取れていないと回路ブレーカーがトリップする可能性があります。

電源装置のハンドルに取り付けられたストレインリリーフストラップで電源コードを固定します。

- a. ストレインリリーフストラップを電源装置のハンドルから外します。

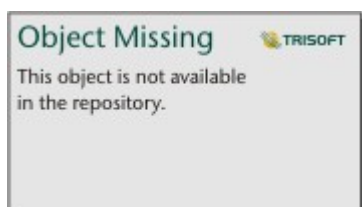


注意

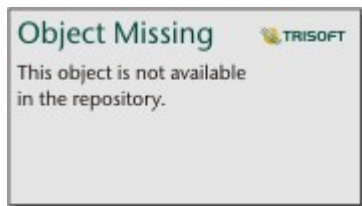
電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

- b. 電源コードをストレインリリーフストラップで固定します。ストラップの余っている部分を電源装置のハンドルの周囲に巻き付けます。

- ・ 60-mm M-CRPS



- ・ 73.5-mm M-CRPS



1. 各電源コードをサーバーに接続します。
2. 各電源コードを電源装置に接続します。
3. 電源装置 LED が緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

73.5-mm DC 電源装置の取り付け

前提条件

- ・ 電源装置を取り付ける前に、以下の記載をお読みください。

- 電源装置に関する警告と注意事項
- DC 電源装置に関する警告と注意事項
- DC 電源装置のワイヤーの色
- ・ この手順を実行する前に、推奨サイズが 04.5 mm のプラスドライバー（No. 2）を用意してください。
- ・ 電源ケーブルを接続する前に、次の点を確認してください。
 - HPE DC PSU 電源コードキット P79874-B21 とオプションの HPE ラグキット P79839-B21（お客様が用意した電源ケーブル用）は、HPE 製品販売店から入手できます。
 - DC 電源装置オプションキットには、電源装置の DC ケーブルキットが付属していないため、電源装置ケーブルラグキットが含まれていない場合があります。DC ケーブルキット（オプション）または DC ケーブルラグキット（オプション）は、Hewlett Packard Enterprise または HPE 製品販売店から直接購入できます。詳しくは、<https://www.hpe.com/info/fsps-qs> にある電源装置の QuickSpecs を参照してください。

このタスクについて

入力電源コードオプションを使用しない場合、電源装置のケーブル接続は資格のある電気技師と相談した上で行い、ご使用の地域の規定に準拠している必要があります。



警告

感電、火災、または装置の損傷を防止するために、この製品の取り付けについては、必ず、以下のガイドラインに従ってください。

- ・ DC 電源装置は、立ち入りが制限された場所に設置されたサーバーへの取り付け専用です。
- ・ DC 電源装置は、DC 供給分岐回路に直接接続するものではありません。必ず、各 DC 電源装置用の独立した過電流保護の出力を提供するパワーディストリビューションユニット (PDU) に接続してください。PDU の過電流保護出力装置は、それぞれ DC 電源から利用可能な電流の障害を防止するのに適していなければなりません。また、最大 70 A の定格でなければなりません。
- ・ PDU 出力は、各電源装置への電力を切断する遮断器または回路ブレーカーを備えている必要があります。電源装置の電源を完全に切るには、PDU で電力を切断してください。最終的な電力供給先の製品は、複数の電源装置を備えている場合があります。そのような製品の電源を完全に切るには、各電源装置への電力を切断してください。
- ・ この電源装置は、情報技術機器および通信機器に関する各国の適合した要件に従って、SELV または TNV として分類された DC 電源にのみ接続されます。通常、これらの要件は、IEC 73.5950-1/IEC 62368-1 の International Standard for Information Technology Equipment に基づいています。各地域の電源に関する規定に従って、DC 供給源にはアース端子に確実に接続できる電極 (Neutral/Return) が 1 本備わっている必要があります。
- ・ 電源装置の前面にある電源装置アース用ネジを、必ず、適切なアース端子に接続してください。この端子は、各地域の電源に関する規定に従って、必ず、建物内の適切なアース端子に接続してください。十分なアースを継続して提供できるように、ラックまたはキャビネットシャーシの上に物を置かないでください。

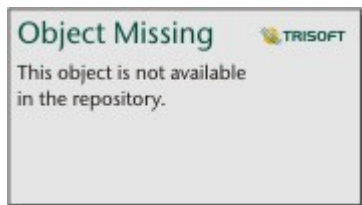


警告

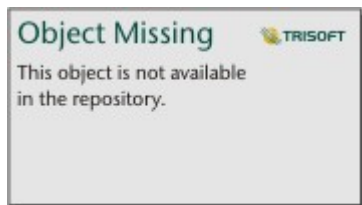
表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラック、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

手順

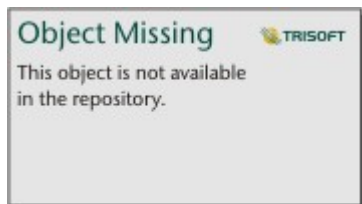
1. 電源装置から保護カバーを取り外します。



2. アース線のネジを取り外してから、リターンワイヤーとラインワイヤーのネジを取り外します。

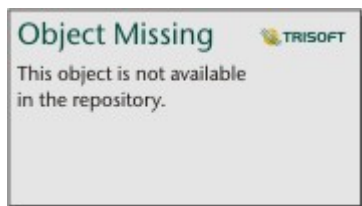


3. 緑色と黄色のアース線（6 AWG [13.3 mm²]）を電源装置に取り付け、M5 ネジとワッシャーを締め付け、0.59 N-m (5.22 lbf-in) のトルクをかけます。



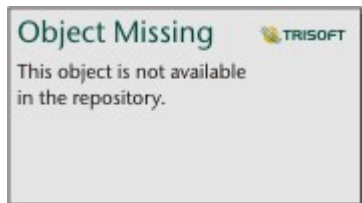
4. リターンワイヤー（黒色）を取り付けます。

- a. リターンワイヤー（6 AWG [13.3 mm²]）を電源装置の RTN スロットに挿入します。
- b. M5 ネジを 0.59 N-m (5.22 lbf-in) のトルクで締め付けます。



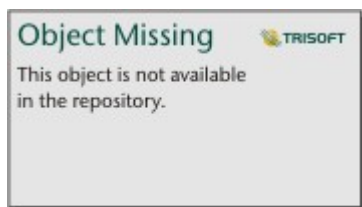
5. ラインワイヤー（赤色）を取り付けます。

- a. ラインワイヤー（6 AWG [13.3 mm²]）を電源装置の-48V スロットに挿入します。
- b. M5 ネジを 0.59 N-m (5.22 lbf-in) のトルクで締め付けます。



電源装置に保護カバーを取り付けます。

保護カバーがロックされていることを確認します。



アース、正のリターン、および負の入力ワイヤーをストレインリリーフストラップに固定します。



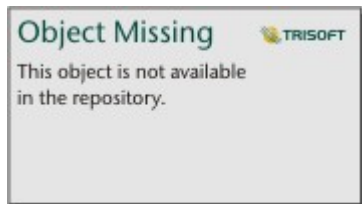
注意

電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

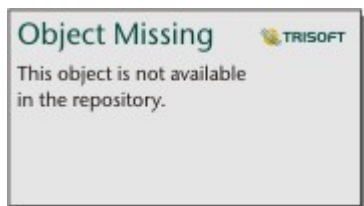


電源装置ベイ 2 に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



- ・ 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



- ・ 必ず、-48 V DC 電源をオフにするか PDU ブレーカーをオフの位置にしてから、電源コードを-48 V DC 電源または PDU に接続します。
- ・ -48 V 電源をオンにするか PDU ブレーカーをオンの位置にして-48 V の電力を電源装置に供給します。
- ・ 電源装置 LED が緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC 電源ケーブルの DC 電源への接続

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ 電線カッター
- ・ 手動圧着工具

このタスクについて



警告

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- ・ この装置は、訓練を受けたサービス担当者が、地方および地域の電気規定および規制に従って設置する必要があります
- ・ 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダリ回路はプライマリ回路と直接の接続はなく、変圧器、コンバーター、または同等の隔離装置から電力を得ます。
- ・ 過電流保護が以下の値を超えないようにしてください。
 - 1300 W DC M-CRPS : 45 A
 - 2200 W DC M-CRPS : 70 A



警告

DC 電源装置を取り付ける際には、正極または負極リードを接続する前にアース線を接続する必要があります。



警告

電源装置の取り付け手順やメンテナンスを実行する前に、電源装置の電源を切ってください。



注意

サーバー装置で、DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体が接続されます。詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。



注意

DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体がサーバー装置で DC 接続されている場合は、次の条件を満たす必要があります。

- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端子のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ 装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置してくだ

手順

- ・ DC 電源コードが 150.00 cm (59.06 インチ) 以上になるように切ります。



重要

DC 電源コードは AWG のワイヤーを使用しており、DC 電源用のピグテールコネクタが含まれます。

- ・ 電源装置と互換性のある端子をピグテールに取り付けます。
- ・ すべての端子と接続方法が、地域の電気工事規定に準拠していることを確認してください。
- ・ ワイヤーゲージの要件：
 - 60-mm DC M-CRPS : 8 AWG ワイヤー
 - 73.5-mm DC M-CRPS : 6 AWG ワイヤー

- ・ 電源にリングトングが必要な場合は、圧着工具を使って電源コード線とアース線にリングトングを取り付けます。
 - ・ 同色ワイヤーごとにまとめて、同じ電源に取り付けます。
- 詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

プロセッサとヒートシンク

サブトピック

プロセッサに関する注意事項

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

プロセッサに関する注意事項



注意

プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。



注意

サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。



注意

プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。



重要

プロセッサソケット 1 には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット 1 にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。



重要

以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システム ROM をアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードする場合は、ファームウェアまたはシステム ROM のアップデートを参照してください。

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

前提条件

- ・ ヒートシンクとプロセッサソケットコンポーネントを特定します。
- ・ プロセッサに関する注意事項を確認します。
- ・ この手順を実行する前に、T-30 トルクスドライバー、またはトルクドライバーと T-30 トルクスビットを用意しておきます。

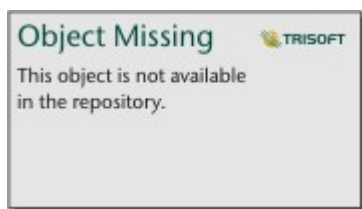
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. システムボードバッフルを取り外します。
9. サーマルインターフェースマテリアルから保護フィルムを取り外します。

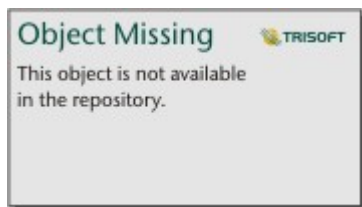


注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

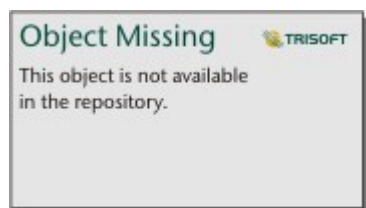


10. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



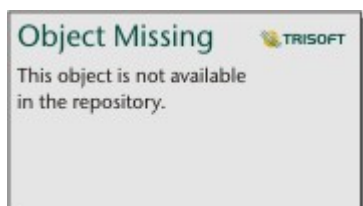
11. プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。



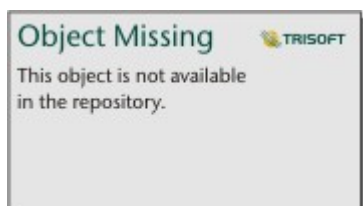
ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。

- a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。



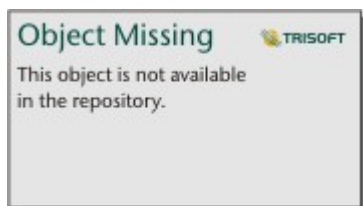
- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。

ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

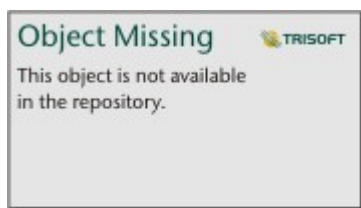


次の確認手順を実行します。

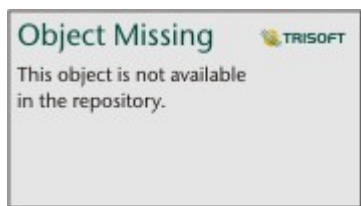
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



- b. プロセッサとプロセッサキャリアのピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



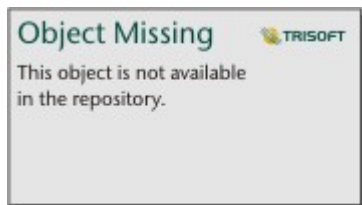
- c. プロセッサがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



- d. プロセッサソケットからダストカバーを外します。

- a. ダストカバーのグリップタブを押したままにします。
- b. ダストカバーを持ち上げてボルスタースタートプレートから取り外します。

カバーは、将来使用できるように保管しておいてください。



- e. プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。

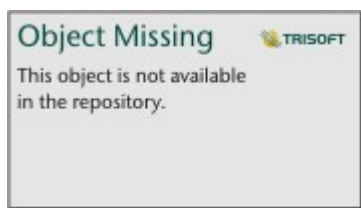


注意

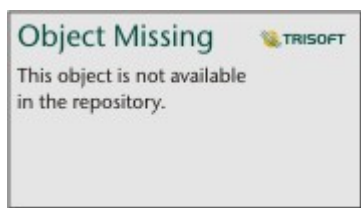
温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレート下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

- a. トルクドライバーを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク 0.9 N-m (8 in-lb) に設定します。
- b. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。
- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

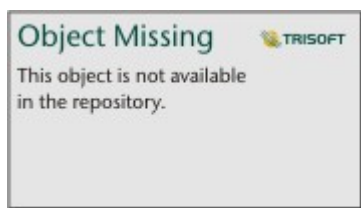
モジュールを一方方向にのみ取り付けることができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



- e. 対角線上にある 1 組のヒートシンクネジを締めて、次にもう 1 組のヒートシンクネジを締めます。



- f. エアバッフルを取り付けます。
- g. アクセスパネルを取り付けます。
- h. サーバーをラックに取り付けます。
- i. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- j. 各電源コードをサーバーに接続します。

- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

プロセッサメザントレイオプション

トレイ上のプロセッサメザニンボードには、HPE DDR5 Smart メモリ（ECC 付き RDIMM、LRDIMM）をサポートする 32 個の DIMM スロットがあります。



矢印は、サーバーの前面方向を示します。

サブトピック

2 プロセッサ構成から 4 プロセッサ構成へのアップグレード

2 プロセッサ構成から 4 プロセッサ構成へのアップグレード

前提条件

- ・ PCIe ライザーの番号を確認します。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-30 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー
 - T-10 トルクスドライバー
 - プロセッサオプション
 - ヒートシンクオプション（P80382-B21）

- プロセッサメザントレイアウトオプション (P80445-B21)
- キャプティブライザーオプション (P80379-B21)
- キャプティブライザーケーブルオプション (P80380-B21/P81004-B21)

このタスクについて

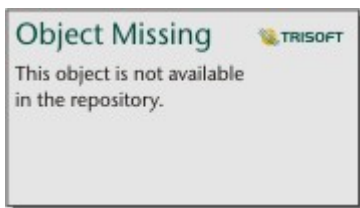


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. 2 プロセッサ構成用のエアバッフルを取り外します。



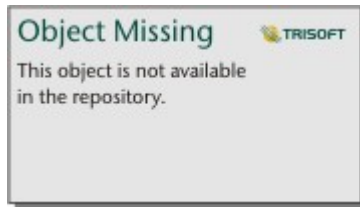
8. システムボードバッフルを取り外します。
9. ファンケースを取り外します。
10. GPU ケージを取り外します。
11. システムボードからすべての UPI ケーブルを抜き取ります。
12. 新しい UPI ケーブルをシステムボードに接続します。

側波帯ボードの取り付け

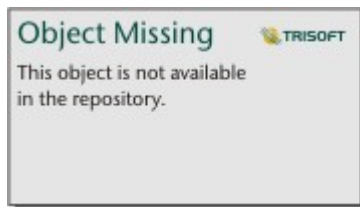
側波帯ボードトレイを取り外します。



側波帯ボードトレイからネジを取り外します。

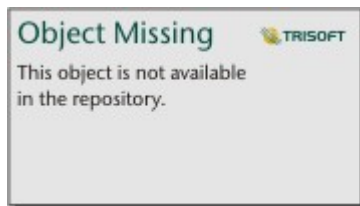


側波帯ボードをトレイに取り付けます。



側波帯ケーブルを側波帯に接続します。

側波帯ボードトレイを取り付けます。



側波帯ケーブル (P74904-001) をシステムボードに接続します。

キャプティブライザーの取り付け

スロット 3 のキャプティブライザーケーブルを交換します。

- a. GPU ケージからライザー 2 を取り外します。
- b. キャプティブライザーケーブル (P71883-001) をスロット 3 から取り外します。
- c. 新しいキャプティブライザーケーブル (P71884-001) をスロット 3 に取り付けます。

d. ライザー 2 を GPU ケージに取り付けます。

l. スロット 5 のキャプティブライザーケーブルを交換します。

a. 取り付けられている場合は、ライザー 4 を GPU ケージから取り外します。

b. キャプティブライザーケーブル (P71890-001) をスロット 5 から取り外します。

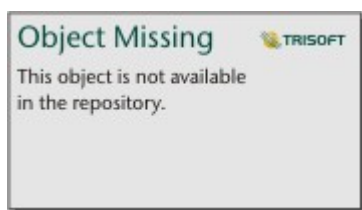
c. スロット 3 から取り外したキャプティブライザーケーブル (P71883-001) を取り付けます。

d. ライザー 4 を GPU ケージに取り付けます。

l. ライザー 5、6、7 を取り付けます。

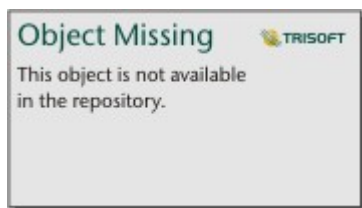
l. ライザー 2、3、4 のキャプティブライザー電源ケーブルをシステムボードから抜き取り、サーバーから取り外します。

l. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケーシングの上部と同じ高さになるまで、GPU ケーシングを保持して配置します。

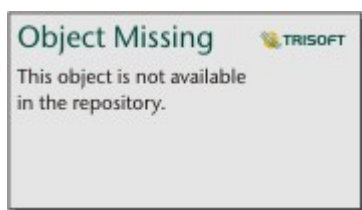


l. キャプティブライザーケーブルをシステムボードに接続します。

l. GPU ケーシングをサーバーに取り付け、固定ネジを締めます。



l. ケーブルを右側の GPU ケーシングケーブルチャンネルブラケットに通してから、ブラケットを GPU ケーシングに取り付けます。



ケーブルを左側の GPU ケーブルチャンネルブラケットに通してから、ブラケットを GPU ケージに取り付けます。



システムボードバッフルを取り付けます。

プロセッサとヒートシンクをプロセッサメザニンボードに取り付ける

サーマルインターフェースマテリアルから保護フィルムを取り外します。

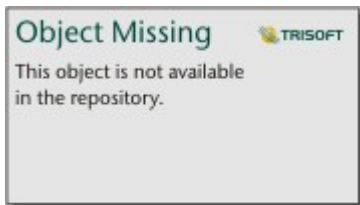


注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。



傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



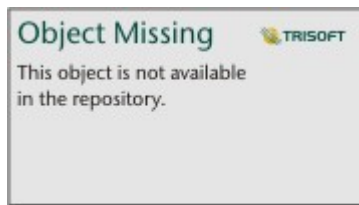
プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。



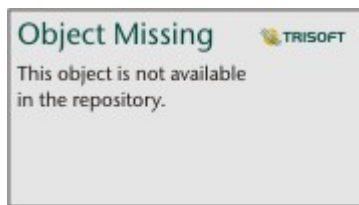
ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。

- a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。



- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。

ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。



次の確認手順を実行します。

- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



- b. プロセッサとプロセッサキャリアのピン1インジケータが揃っていることを確認します。

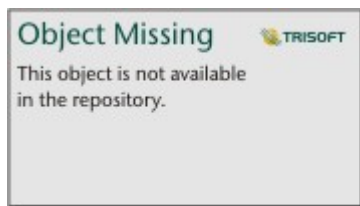


- c. プロセッサがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



- d. プロセッサソケットからダストカバーを外します。
 - a. ダストカバーのグリップタブを押したままにします。
 - b. ダストカバーを持ち上げてボルスタープレートから取り外します。

カバーは、将来使用できるように保管しておいてください。



- e. プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。



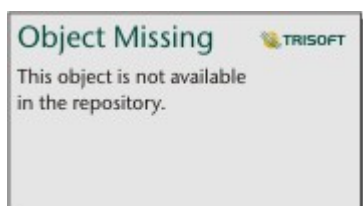
注意

温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

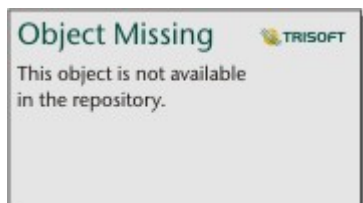
- a. トルクドライバーを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク 0.9 N-m (8 in-lb) に設定します。

- b. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。
- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

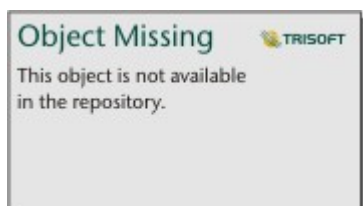
モジュールを一方向にのみ取り付けることができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



- e. 対角線上にある 1 組のヒートシンクネジを締めて、次にもう 1 組のヒートシンクネジを締めます。



- f. プロセッサメザントレイを取り付けます。



- g. 次のケーブルをプロセッサメザンボードに接続します。

- ・ 側波帯ボードケーブル

- ・ UPI ケーブル
- ・ キャプティブライザーケーブル

キャプティブライザー電源ケーブルをライザーとプロセッサメザニンボードに接続します。

所定の位置にロックされるまで、プロセッサメザントレイのハンドルを押し下げます。



4 プロセッサ構成用のエアバッフルを取り付けます。



ファンページを取り付けます。

M-CRPS 3 および 4 を取り付けます。

アクセスパネルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

各電源コードをサーバーに接続します。

各電源コードを電源ソースに接続します。

サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要の HPE ラックレールオプションを使用して、サーバーを標準 4 ポストラックに取り付けます。レール設計では、さまざまなマウントインターフェイスのラックへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットにはケーブルマネジメントアームオプションが含まれています。

サブトピック

レール識別マーカー

ラックマウントインターフェイス

CMA コンポーネント

ラックレールのオプション

ラックへのサーバーの取り付け：ボールベアリングラックレール

ケーブルマネジメントアームの取り付け

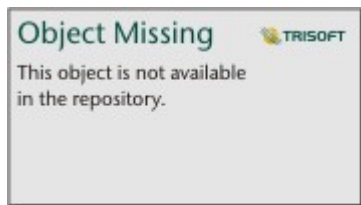
レール識別マーカー

ラックレールオプションのサポートは、次の 2 つの要因によって異なります。

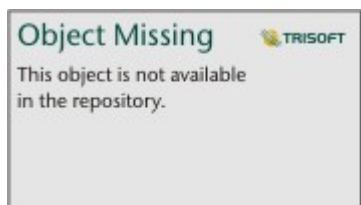
- ・ フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- ・ フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

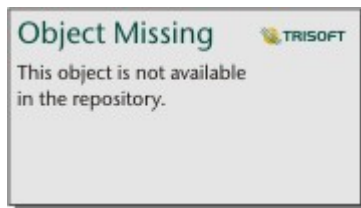
- ・ シャーシのレール番号ラベル



- ・ インナーレールのレール識別子スタンプ

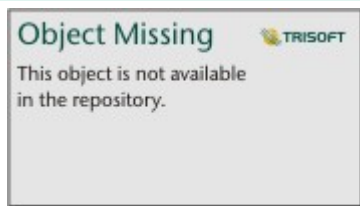


- ・ マウンティングレールのレール識別子スタンプ



ラックマウントインターフェイス

ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



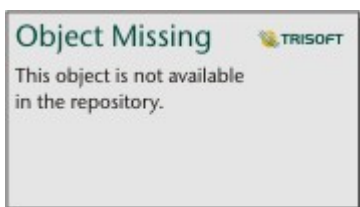
丸穴

角穴

丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

CMA コンポーネント



番号	説明
1	インナーレール
2	CMA インナーレールブラケット
3	アウターレール
4	CMA アウターレールブラケット
5	ケーブルバスケット
6	CMA エルボブラケット

ラックレールのオプション

このサーバーは HPE ボールベアリングラックレールオプションキット#13 (P69770-B21) をサポートしています。このレールキットは次の仕様に対応しています。

- ・ タイプ：ボールベアリングラックレール（スタブイン）
- ・ 最小レール長さ：845.67 mm (33.29 インチ)
- ・ レール調整範囲：609.60～918.10 mm (24.00～36.15 インチ)

サブトピック

ボールベアリングラックレールを取り付ける

ボールベアリングラックレールを取り付ける

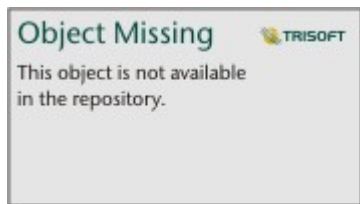
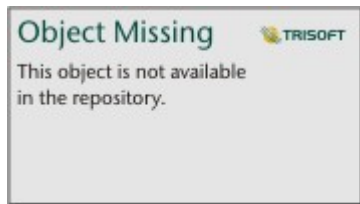
前提条件

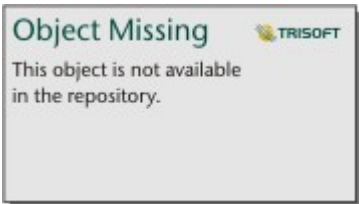
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。

- ・ ラックマウンティングレールをネジ穴ラックに取り付ける場合は、次のいずれかのアイテムが揃っていることを確認してください。
 - T-25 トルクスドライバー
 - 小型マイナスドライバー

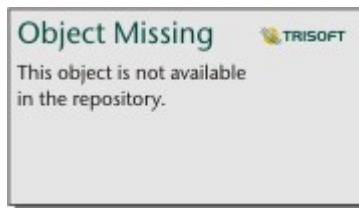
手順

- ・ サーバーとレールのレール ID が一致していることを確認します。



- ・ マウンティングレールからインナーレールを取り外します。
 - a. インナーレールをマウンティングレールから完全に伸びるまで伸ばします。A screenshot of a software error message box titled "Object Missing" with the TRISOFT logo. The text inside reads: "This object is not available in the repository."
 - b. ラッチを押したまま、インナーレールをスライドさせてマウンティングレールから完全に引き出します。A screenshot of a software error message box titled "Object Missing" with the TRISOFT logo. The text inside reads: "This object is not available in the repository."
 - c. もう一方のインナーレールでも手順 1～2 を繰り返します。
- ・ インナーレールをサーバーに取り付けます。

- a. サーバー側面のスプールをレールの逆挿入防止スロットに挿入します。
- b. レールをリアパネルに向かってスライドさせて固定します。



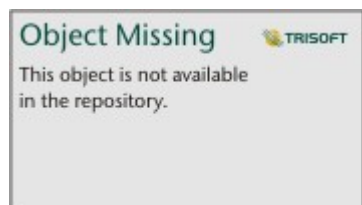
- c. マウンティングレールの方向マーカを確認します。

レールの前端には、**FRONT LEFT** または **FRONT RIGHT** とマークされています。



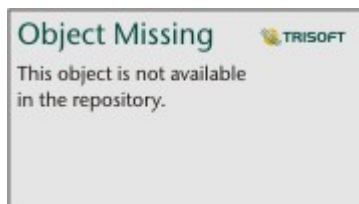
- d. マウンティングレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。

- e. マウンティングレールを丸穴または角穴ラックに取り付けるには、取り付けフランジのピンをラックポストの穴に挿入します。



- f. マウンティングレールを丸ネジ穴ラックに取り付けるには、以下の手順を実行します。

- a. マウンティングレールからピンとワッシャーを取り外します。



- b. 取り付けフランジの穴とラックポストのネジ穴の位置を合わせます。
- c. ラックの取り付けネジを取り付けます。



- ・ サーバーをラックに取り付けます。

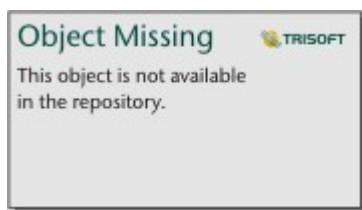
ラックへのサーバーの取り付け：ボールベアリングラックレール

前提条件

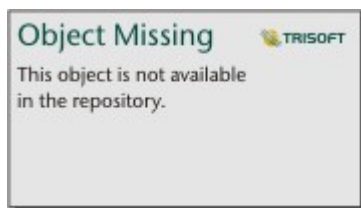
- ・ ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げる場合は、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- ・ この手順を実行する前に、T-25 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

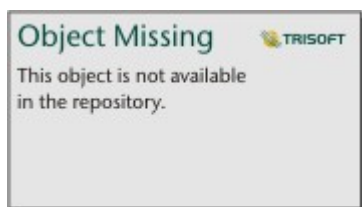
- ・ レールをロック位置まで完全に伸ばします。



1. サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
 - b. 後端のレールリリースラッチを押したまま、シャーシイヤーがラックのポストにぴったりくっつくまでサーバーをラック内にスライドさせます。



2. シャーシイヤーを開き、輸送用ネジを締めます。



3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
4. 各電源コードをサーバーに接続します。
5. 各電源コードを電源ソースに接続します。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、以下を確認してください。
 - ラックに関する警告と注意事項
 - CMA コンポーネント
- ・ T-25 トルクスドライバー – このツールは、シャーシイヤー内にある輸送用ネジを緩めたり締めたりする場合に必要です。

このタスクについて

ケーブルマネジメントアーム（CMA）を使用すると、システムの電源を切ったり、リアパネルケーブルを抜いたりしなくても、サーバーをラックから完全に引き出すことができます。このCMAは、右開きと左開きの両方の実装に対応するよう設計されています。

この手順では、左右はラックの前面に向かって見たときの方向です。



注意

取り外しおよび交換手順の際は、CMAを支えてください。手順中にCMAが自重でぶら下がらないようにしてください。



注意

ケーブルマネジメントラッチまたはレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。レールまたはラッチに指をはさむ場合があります。

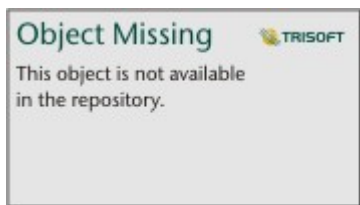
手順

- すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。
- （オプション）CMA 固定用ブラケットを回転させて、左側または右側の CMA 操作に合わせることができます。回転機構を押したまま、ブラケットを 180° 回転させます。

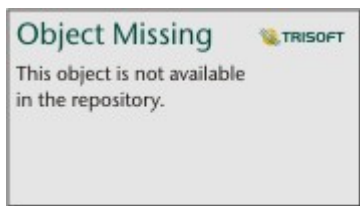
ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。

ブラケットの回転方向は、使用している CMA モジュールによって異なります。

- 回転ボタンがある CMA



- 回転ラッチがある CMA



- CMA ブラケットをインナーレールとアウターレールに取り付けます。



ケーブルバスケットを開きます。



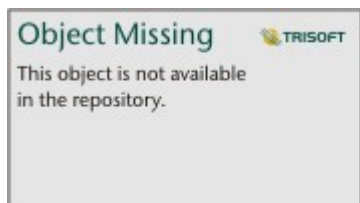
ケーブルを取り付けます。



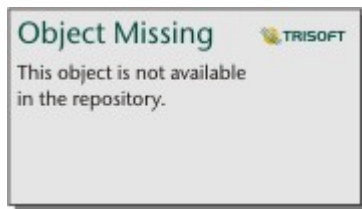
注意

CMA に固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

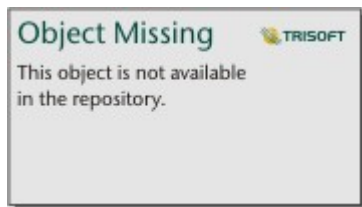
- ・ リアパネルと CMA の間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをラックから引き出す際に、CMA を完全に引き出せるようにします。
- ・ ただし、CMA 内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ・ ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをラックから引き出すか戻すときに、ラックに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。



1. すべてのバスケットを閉じます。



2. エルボブラケットをアウターレールに取り付けます。



3. ラックレールの動作を確認します。
 - a. ラックからシャーシを完全に引き出します。
 - b. シャーシを完全に引き出しても、ケーブルと電源コードに十分なたるみがあることを確認します。ケーブルが絡んだり折れたりしていないことを確認します。
 - c. ケーブルとコードが適切に固定されていることを確認するには、シャーシをスライドさせてラックから出し入れします。周辺ケーブルと電源コードが誤って外れる恐れがないことを確認してください。
4. シャーシイヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
5. (オプション) シャーシイヤーラッチを開き、輸送用ネジを締めます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ライザー

サブトピック

キャプティブライザーの取り付け
拡張カードの取り付け

キャプティブライザーの取り付け

前提条件

- ・ PCIe ライザーの番号を確認します。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - キャプティブライザーオプション (P80379-B21)
 - 互換性のあるライザーケーブルオプション
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



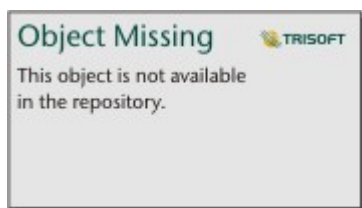
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。

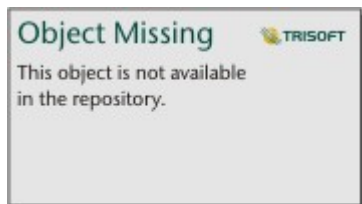
- 1. アクセスパネルを取り外します。
- 2. エアバッフルを取り外します。
- 3. プロセッサーマザーボードトレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケースを取り外します。
 - b. プロセッサーマザーボードトレイを取り外します。
- 4. システムボードバッフルを取り外します。
- 5. GPU ケージを取り外します。
- 6. GPU ケージを平らな作業面に置きます。
- 7. キャプティブライザーケーブルを取り付けます。



- 8. 手順 12 を繰り返して、もう一方のスロットにライザーケーブルを取り付けます。
- 9. ライザー電源ケーブルをキャプティブライザーに接続します。
- 10. ライザーケーブルを GPU ケージのケーブルチャンネルに通します。



- 11. キャプティブライザーを GPU ケージに取り付けます。



- 12. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケーシングの上部と同じ高さになるまで、GPU ケージを保持して配置します。



- 1. キャプティブライザーの信号ケーブルと電源ケーブルをシステムボードに接続します。
- 1. GPU ケージをサーバーに取り付け、固定ネジを締めます。



- 1. システムボードバッフルを取り付けます。
- 1. 以下が取り外されている場合、次のようにします。
 - a. プロセッサメザニントレイを取り付けます。
 - b. ファンケージを取り付けます。
- 1. エアバッフルを取り付けます。
- 1. サーバーをラックに取り付けます。
- 1. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 1. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 1. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 1. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

拡張カードの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

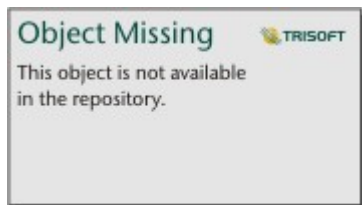


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. PCIe スロットブランクを取り外します。



8. 拡張カードのスイッチまたはジャンパーが正しく設定されていることを確認します。
詳しくは、拡張カードオプションに付属のドキュメントを参照してください。
9. 拡張カードを GPU ケージに取り付けます。



- 必要な内部ケーブルをすべて拡張カードに接続します。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- サーバーをラックに取り付けます。
- 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 各電源コードをサーバーに接続します。
- 各電源コードを電源ソースに接続します。
- サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セキュリティ

サブトピック

フロントベゼルオプションの取り付け

フロントベゼルオプションの取り付け

手順

- フロントベゼルを右側のシャーシイヤーに接続します。
- フロントベゼルのリリースラッチを押し続けます。
- フロントベゼルを閉じます。



- ・ (オプション) Kensington セキュリティロックを取り付けます。
詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ストレージコントローラー

サブトピック

タイプ o ストレージコントローラーの取り付け
GPU ケージへのタイプ p ストレージコントローラーの取り付け

タイプ o ストレージコントローラーの取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 互換性のあるコントローラーのケーブル
 - T-10 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

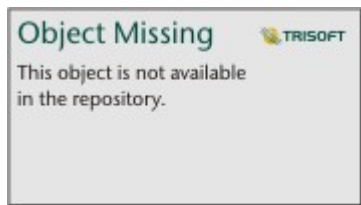
ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. ファンケースを取り外します。
9. 取り付けられている場合は、プロセッサメザイントレイを取り外します。
10. システムボードバッフルを取り外します。
11. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
12. GPU ケージを取り外します。
13. OCP スロットブランクを取り外します。



1. タイプ0ストレージコントローラーを取り付けます。
 - a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
 - b. カチッとハマるまで、コントローラーをスロットにスライドさせます。
コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
 - c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



1. タイプ0コントローラーを接続します。
1. GPU ケージを取り付けます。
1. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
1. システムボードバッフルを取り付けます。
1. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
1. ファンケージを取り付けます。
1. エアバッフルを取り付けます。
1. アクセスパネルを取り付けます。
1. サーバーをラックに取り付けます。
1. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
1. 各電源コードをサーバーに接続します。
1. 各電源コードを電源ソースに接続します。
1. サーバーの電源を入れます。
1. サーバーファームウェアが最新のリビジョンでない場合はアップデートします。

- ・ コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPU ケージへのタイプ p ストレージコントローラーの取り付け

前提条件

- ・ ストレージコントローラーオプションのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。

コントローラーキャッシュ機能について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) でコントローラーの QuickSpecs を参照してください。

- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 互換性のあるコントローラーのケーブル
 - T-10 トルクスドライバ

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

- ・ すべてのサーバーデータをバックアップします。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- サーバーをラックから取り外します。
- サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- アクセスパネルを取り外します。
- エアバッフルを取り外します。
- ファンケージを取り外します。
- 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
- システムボードバッフルを取り外します。
- ファンケーブルアセンブリを取り外します。
- PCIe スロットブランクを取り外します。

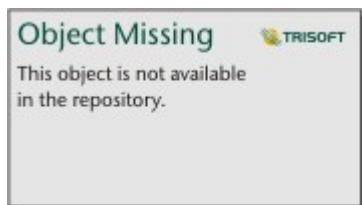


注意

ライザースロットを損傷しないように、カードは真っ直ぐに均等な圧力で取り付けまたは取り外ししてください。カードの取り外しまたは取り付けをする際は、曲げたり、ねじったり、無理な力を加えたりしないでください。

GPU ケージにタイプ p ストレージコントローラーを取り付けます。

コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



- ・ タイプ p ストレージコントローラーをケーブル接続します。
 - ・ SFF (2.5 型) ドライブ
 - ・ E3.S ドライブ
- ・ ストレージコントローラーの FBWC 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。
- ・ ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
- ・ システムボードバッフルを取り付けます。
- ・ 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
- ・ ファンケージを取り付けます。
- ・ エアバッフルを取り付けます。
- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合はアップデートします。
- ・ コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブル接続

内部コンポーネントのケーブル接続のための内部ケーブル接続のガイドラインと図を提供します。

サブトピック

- ケーブル接続のガイドライン
- ケーブル配線図
- 内部ケーブル管理

ストレージのケーブル接続
キャプティブライザーのケーブル接続
DPU 補助電源のケーブル接続
オプティカルドライブのケーブル接続
ユニバーサルメディアベイのケーブル接続
HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のケーブル接続
側波帯ボードのケーブル接続
ファンのケーブル接続
Intel UPI のケーブル接続
OCP 帯域幅有効化のケーブル接続
シリアルポートのケーブル接続
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続
Systems Insight Display のケーブル接続
フロント I/O のケーブル接続
DLC モジュールのケーブル接続
PDU のケーブル接続

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。



注記

ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。



注意

コネクタの損傷を防ぐため、ケーブルの抜き差しを繰り返さないでください。過剰な取り扱いはケーブルの寿命を縮める可能性があります。

- ・ ケーブルオプションキットについては、製品の QuickSpecs を参照してください。
- ・ ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- ・ 一部の図では、A、B、C などのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクタ近くのラベルに対応しています。
- ・ Y ケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクタがありますが、すべてのコネクタが使用されるわけではありません。
- ・ サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

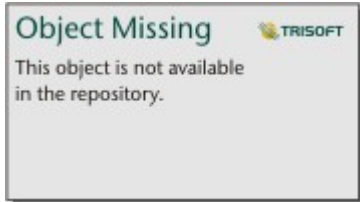
- ・ PCA コンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）
- ・ 各ケーブルコネクタ付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- ・ 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- ・ 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

ケーブルの接続時

- ・ ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- ・ 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ・ ケーブルは、ヒートシンクなどの冷却コンポーネントに接触したり、上に置いたりしないように配線してください。ケーブル配線がヒートシンクや通気用開口部の通気を妨げないようにしてください
- ・ ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- ・ 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- ・ 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- ・ 新しいコンポーネントを取り付ける前、またはサーバーを閉じる前に、すべてのケーブルが適切な配線位置にあることを確認してください。このケーブルチェックにより、コンポーネントの損傷や信号干渉の可能性を防ぎます。

ケーブルを取り外す場合

- ・ ケーブルコネクターの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ・ ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- ・ 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

- ・ コンポーネントを配線する前に、[ケーブル接続のガイドライン](#)を参照してください。
- ・ ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
ストレージコントローラーのケーブル接続	–
ドライブボックス 1 : SFF (2.5 型) ドライブ構成	–
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接ケーブル	・ P74813-001 ・ P74816-001
スタックされた 2 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブ直接接続ケーブル	・ 2 プロセッサ構成 : P78316-001 ・ 4 プロセッサ構成 : P78316-001
8 SFF (2.5 型) NVMe x1 ドライブケーブル : タイプ 0 コントローラー	P78320-001

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
8 SFF (2.5 型) NVMe x1 ドライブケーブル : タイプ p 2 ポートトライモードコントローラ —	P78322-001
8 SFF (2.5 型) NVMe x4 ドライブケーブル : タイプ p 2 ポートトライモードコントローラ —	P78629-001
スタックされた 2 SFF (2.5 型) x4 NVMe ド ライブケーブル : タイプ o コントローラ	P78320-001
スタックされた 2 SFF (2.5 型) x4 NVMe ド ライブケーブル : タイプ p コントローラ	P78322-001
ドライブボックス 3 : SFF (2.5 型) ドライブ 構成	—
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接ケーブル : 8 SFF (2.5 型) ドライブ構成用	・ P74813-001 ・ P74809-001
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接ケーブル : 16/24 /32 ドライブ構成用、またはスタックされた 2 台のドライブがボックス 1 に取り付けられて いる場合	P74813-001
8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブケーブル : スロット 15 OCP B のタイプ o コントローラ —	P78317-001
8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブケーブル : スロット 14 OCP A のタイプ o コントローラ —	P78317-001
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブケーブル : スロット 14 OCP A およびスロット 15 OCP B のタイプ o コントローラ	P78317-001
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブケーブル : スロット 14 OCP A のタイプ o コントローラ —	P78319-001
8 SFF (2.5 型) NVMe x1 ドライブケーブル : タイプ p 2 ポートトライモードコントローラ —	P78322-001

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

8 SFF (2.5 型) NVMe x4 ドライブケーブル :
タイプ p 2 ポートトライモードコントローラ

- ・ スロット 2 : [P78629-001](#)
- ・ スロット 3 および 4 : [P78322-001](#)
- ・ スロット 4 および 6 : [P78322-001](#)
- ・ スロット 6 および 8 : [P78321-001](#)
- ・ スロット 5 および 6 : [P78321-001](#)

ドライブボックス 4 : SFF (2.5 型) ドライブ 構成

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接接続ケーブル : 2 [P74812-001](#)
プロセッサ構成

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接接続ケーブル : 4
プロセッサ構成

- ・ システムボードへ : [P74813-001](#)
- ・ プロセッサメザニンボードへ : [P78316-001](#)

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージ
コントローラーケーブル : タイプ o コント
ローラー

- ・ コントローラーのポート 1 : [P78332-001](#)
- ・ コントローラーのポート 2 : [P78320-001](#)

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージ
コントローラーケーブル : タイプ o コント
ローラー [P78318-001](#)

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージ
コントローラーケーブル : タイプ p 2 ポート
トライモードコントローラー

- ・ スロット 7 : [P78322-001](#)
- ・ スロット 8 : [P78322-001](#)

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージ
コントローラーケーブル : タイプ p 2 ポート
トライモードコントローラー

- ・ スロット 5 および 6 : [P78322-001](#)
- ・ スロット 7 および 8 : [P78632-001](#)
- ・ スロット 8 : [P78630-001](#)

ドライブボックス 6 : SFF (2.5 型) ドライブ 構成

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接接続ケーブル [P74817-001](#)

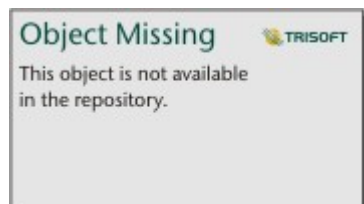
8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージ
コントローラーケーブル : タイプ o コント
ローラー [P78317-001](#)

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージ コントローラーケーブル : タイプ p 2 ポート トライモードコントローラー	P78322-001
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージ コントローラーケーブル : タイプ p 2 ポート トライモードコントローラー	P78630-001
ドライブボックス 1 : E3.S ドライブ構成	–
8 E3.S x4 NVMe 直接ケーブル	・ P78323-001 ・ P78324-001
ドライブボックス 3 : E3.S ドライブ構成	–
8 E3.S x4 NVMe 直接ケーブル	P78323-001
ドライブボックス 4 : E3.S ドライブ構成	–
8 E3.S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続 : 2 プロセッサ構成	P78325-001
8 E3.S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続 : 4 プロセッサ構成	・ システムボードへ : P78324-001 ・ プロセッサメザニンボードへ : P78324-001
ドライブボックス 6 : E3.S ドライブ構成	–
8 E3.S x4 NVMe 直接接続ケーブル	P78326-001
ドライブの電源ケーブル接続	–
SFF (2.5 型) ドライブ電源ケーブル	・ P78327-001 ・ P78328-001
E3.S ドライブ電源ケーブル	・ P78329-001 ・ P78330-001
スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブ電源 ケーブル	P78327-001
Energy Pack のケーブル接続	・ P01367-B21 ・ P02381-B21

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
ストレージバックアップのケーブル接続	・ タイプ o コントローラー : P78333-001 ・ タイプ p コントローラー : P78333-001
キャプティブライザーのケーブル接続	–
2 プロセッサ構成用のキャプティブライザーケーブル	・ ライザー信号ケーブル ◦ P71883-001 ◦ P71890-001 ・ ライザー電源ケーブル : ◦ P78312-001 ◦ P78313-001
4 プロセッサ構成用のキャプティブライザーケーブル	・ ライザー信号ケーブル : ◦ キャプティブライザー スロット 1、2、11、12 : P73416-001 ◦ キャプティブライザー スロット 3、4、9、10 – P71884-001 – P71890-001 ◦ キャプティブライザー スロット 5～8 – P71883-001 – P71890-001 ・ ライザー電源ケーブル ◦ P78312-001 ◦ P78313-001
DPU 補助電源のケーブル接続	・ 2 プロセッサ構成 : P74341-001 ・ 4 プロセッサ構成 : P74341-001
オプティカルドライブのケーブル接続	P73776-002
ユニバーサルメディアベイのケーブル接続	P75280-001

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のケーブル接続	–
フロントパネルのブートデバイス	・ P48956-001 ・ P74839-001
リアパネルのブートデバイス	・ P54088-001 ・ P71913-001
側波帯ボードのケーブル接続	・ P74904-001 ・ P74901-001
ファンのケーブル接続	P78331-001
Intel UPI のケーブル接続	・ 2 プロセッサ構成 : ◦ P72257-001 ◦ P72259-001 ◦ P74340-001 ・ 4 プロセッサ構成 : ◦ P74902-001 ◦ P74903-001
OCP 帯域幅アップグレードのケーブル接続	・ P72256-001 ・ P72031-001
シリアルポートのケーブル接続	–
シリアルポートのドングル	P73744-001
iX ポートケーブル	P71826-001
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続	P54901-001
System Insight Display のケーブル接続	P48971-001
フロント I/O のケーブル接続	P71909-001

内部ケーブル管理



番号	説明
1	ファンケーブルアセンブリ
2	DIMM ガード
3	GPU ケーブルチャネルブラケット

ストレージのケーブル接続

サブトピック

[ストレージコントローラーのケーブル接続](#)
[ドライブ電源のケーブル接続](#)
[Energy Pack のケーブル接続](#)
[ストレージバックアップ電源のケーブル接続](#)

ストレージコントローラーのケーブル接続

サブトピック

[SFF \(2.5 型\) ドライブ構成](#)
[E3.S ドライブ構成](#)

SFF（2.5 型）ドライブ構成

サブトピック

- [ドライブボックス 1 のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス 3 のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス 4 のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス 6 のケーブル接続](#)

ドライブボックス 1 のケーブル接続

8 SFF（2.5 型）x4 NVMe 直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサ メザニンボード）
P74813-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	M-X10 ポート 0
	青色	ボックス 1、ポート 2	M-X10 ポート 2
P78316-001	金色	ボックス 1、ポート 3	M-X10 ポート 6
	ピンク色	ボックス 1、ポート 4	M-X10 ポート 4

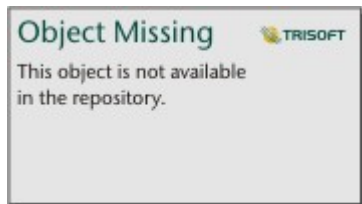
スタックされた 2 SFF（2.5 型）x4 NVMe ドライブ直接接続のケーブル接続

・ 2 プロセッサ構成



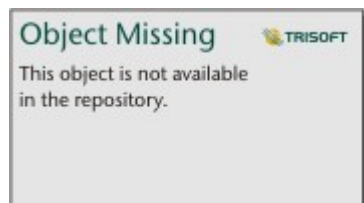
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P78316-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	M-XIO ポート 4

4 プロセッサ構成



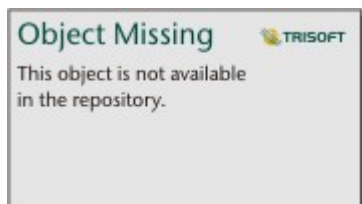
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサ メザニンボード）
P78316-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	M-XIO ポート 4

8 SFF（2.5 型）x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ o コントローラー



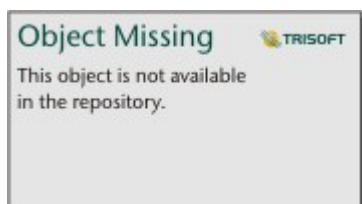
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78320-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	スロット 15 OCP B の タイプ o ストレージ コントローラーポー ト 1

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



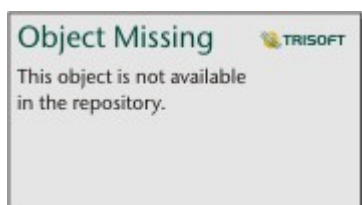
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	スロット 8 のタイプ p ストレージコントローラーポート 1

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



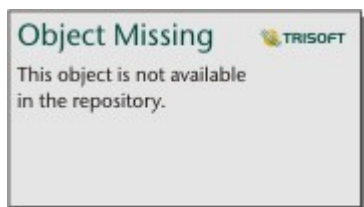
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78629-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1 とポート 2	スロット 11 のタイプ p ストレージコントローラーポート 1
	青色	ボックス 1、ポート 3 とポート 4	スロット 11 のタイプ p ストレージコントローラーポート 2

スタックした 2 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ o コントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78320-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	スロット 15 OCP B の タイプ 0 ストレージ コントローラーポー ト 2

スタックした 2 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続 :
タイプ p コントローラー

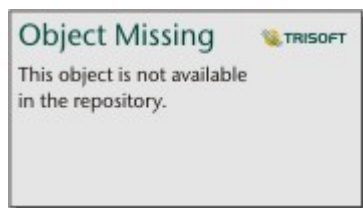


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1	スロット 7 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1

ドライブボックス 3 のケーブル接続

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接接続のケーブル接続

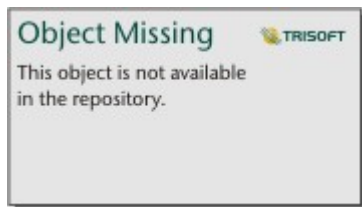
- ・ 8 SFF (2.5 型) ドライブ構成の場合



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74813-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	M-XIO ポート 1
	青色	ボックス 3、ポート 2	M-XIO ポート 3

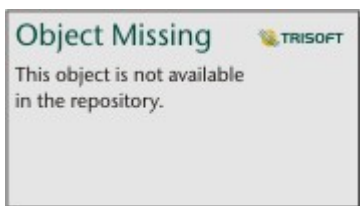
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74809-001	金色	ボックス 3、ポート 3	M-XIO ポート 0
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	M-XIO ポート 2

- 16/24/32 ドライブ構成の場合、またはスタックされた 2 台のドライブがボックス 1 に取り付けられている場合



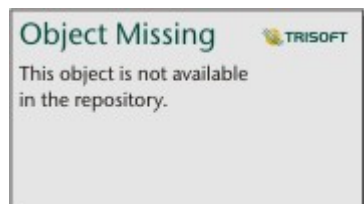
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74813-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	M-XIO ポート 1
	青色	ボックス 3、ポート 2	M-XIO ポート 3
	金色	ボックス 3、ポート 3	M-XIO ポート 7
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	M-XIO ポート 5

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : スロット 15 OCP B のタイプ o コントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 15 OCP B のタイプ o ストレージコントローラーポート 1

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : スロット 14 OCP A のタイプ o コントローラー



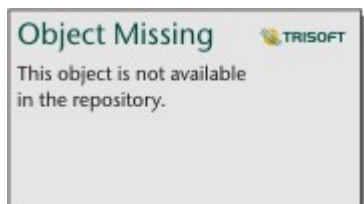
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 14 OCP A のタイプ o ストレージコントローラーポート 1

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : スロット 14 OCP A およびスロット 15 OCP B のタイプ o コントローラー



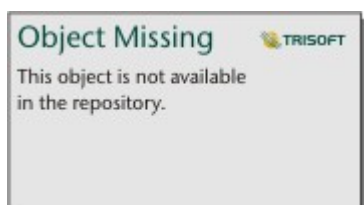
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 15 OCP B のタイプ o ストレージコントローラーポート 1
	青色	ボックス 3、ポート 2	スロット 15 OCP B のタイプ o ストレージコントローラーポート 2
	金色	ボックス 3、ポート 3	スロット 14 OCP A のタイプ o ストレージコントローラーポート 1
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	スロット 14 OCP A のタイプ o ストレージコントローラーポート 2

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : スロット 14 OCP A のタイプ o コントローラー



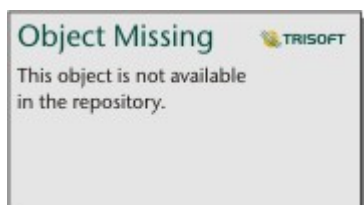
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78319-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1 とポート 2	スロット 14 OCP A のタイプ o ストレージコントローラーポート 1
	青色	ボックス 3、ポート 3 とポート 4	スロット 14 OCP A のタイプ o ストレージコントローラーポート 2

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 7 のタイプ p ストレージコントローラー

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: スロット 2 のタイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



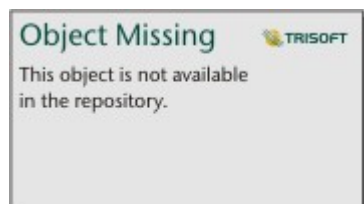
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78629-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1 とポート 2	スロット 2 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	青色	ボックス 3、ポート 3 とポート 4	スロット 2 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: スロット 3 およ
び 4 のタイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



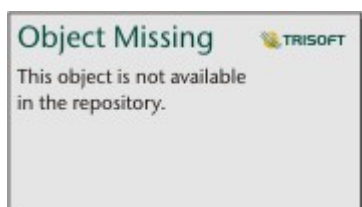
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 3 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	青色	ボックス 3、ポート 2	スロット 3 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1
	金色	ボックス 3、ポート 3	スロット 4 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	スロット 4 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: スロット 4 およ
び 6 のタイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



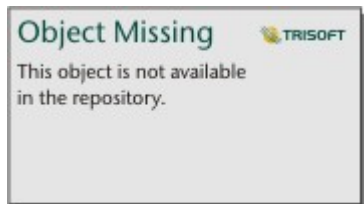
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 4 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	青色	ボックス 3、ポート 2	スロット 4 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1
	金色	ボックス 3、ポート 3	スロット 6 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	スロット 6 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: スロット 6 およ
び 8 のタイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78321-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 6 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	青色	ボックス 3、ポート 2	スロット 6 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1
	金色	ボックス 3、ポート 3	スロット 8 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	スロット 8 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1

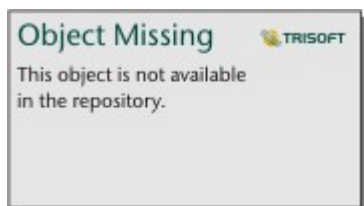
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: スロット 5 および 6 のタイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78321-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1	スロット 5 のタイプ p ストレージコントローラーポート 2
	青色	ボックス 3、ポート 2	スロット 5 のタイプ p ストレージコントローラーポート 1
	金色	ボックス 3、ポート 3	スロット 6 のタイプ p ストレージコントローラーポート 2
	ピンク色	ボックス 3、ポート 4	スロット 6 のタイプ p ストレージコントローラーポート 1

ドライブボックス 4 のケーブル接続

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接接続のケーブル接続: 2 プロセッサ構成

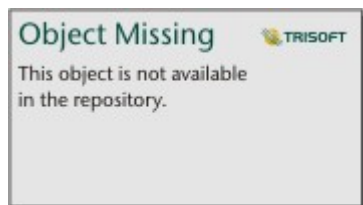


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (システムボード)
P74812-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	M-X10 ポート 0
	青色	ボックス 4、ポート 2	M-X10 ポート 2

ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
	金色	ボックス 4、ポート 3	M-X10 ポート 6
	ピンク色	ボックス 4、ポート 4	M-X10 ポート 4

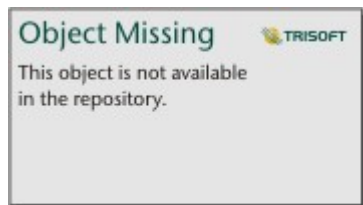
8 SFF（2.5 型）x4 NVMe 直接接続のケーブル接続：4 プロセッサ構成

・ システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P74813-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	M-X10 ポート 6
	青色	ボックス 4、ポート 2	M-X10 ポート 4

・ プロセッサメザニンボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサメザニンボード）
P78316-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 3	M-X10 ポート 6
	青色	ボックス 4、ポート 4	M-X10 ポート 4

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ o コントローラー

・ コントローラーのポート 1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78332-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	スロット 15 OCP B のタイプ o ストレージ コントローラーポ ート 1

・ コントローラーのポート 2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78320-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	スロット 15 OCP B のタイプ o ストレージ コントローラーポ ート 2

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ o コントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78318-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1 とポート 2	スロット 15 OCP B の タイプ 0 ストレージ コントローラーポー ト 1
	青色	ボックス 4、ポート 3 とポート 4	スロット 15 OCP B の タイプ 0 ストレージ コントローラーポー ト 2

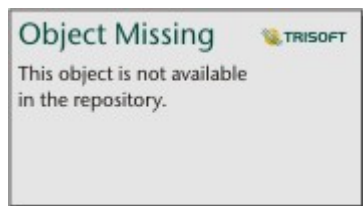
8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー

・ スロット 7



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	スロット 7 のタイプ p ストレージコント ローラー

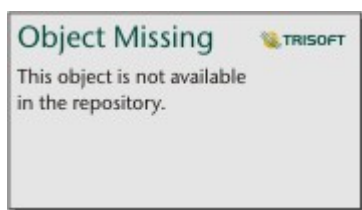
・ スロット 8



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	スロット 8 のタイプ p ストレージコント ローラー

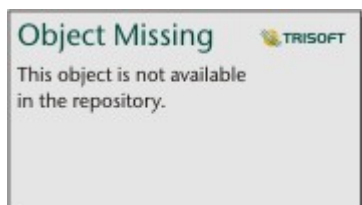
8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー

- ・ スロット 5 および 6



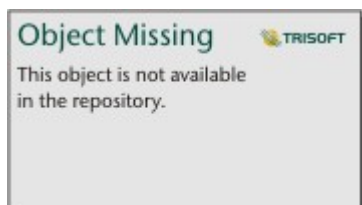
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	スロット 5 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 2
	青色	ボックス 4、ポート 2	スロット 5 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 1
	金色	ボックス 4、ポート 3	スロット 6 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 2
	ピンク色	ボックス 4、ポート 4	スロット 6 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 1

- ・ スロット 7 および 8



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78632-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1	スロット 7 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 2
	青色	ボックス 4、ポート 2	スロット 7 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 1
	金色	ボックス 4、ポート 3	スロット 8 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 2
	ピンク色	ボックス 4、ポート 4	スロット 8 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 1

・ スロット 8



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78630-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1 とポート 2	スロット 8 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 1
	青色	ボックス 4、ポート 3 とポート 4	スロット 8 のタイプ p ストレージコント ローラーポート 2

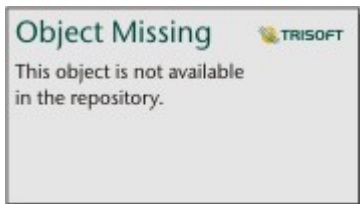
ドライブボックス 6 のケーブル接続

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe 直接接続のケーブル接続



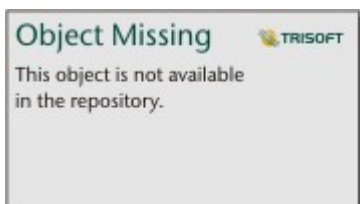
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (システムボード)
P74817-001	オレンジ色	ボックス 6、ポート 1	M-X10 ポート 1
	青色	ボックス 6、ポート 2	M-X10 ポート 3
	金色	ボックス 6、ポート 3	M-X10 ポート 7
	ピンク色	ボックス 6、ポート 4	M-X10 ポート 5

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ o コントローラー



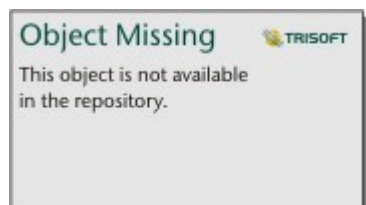
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス 6、ポート 1	スロット 14 OCP A の タイプ o ストレージ コントローラーポー ト 2

8 SFF (2.5 型) x1 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス 6、ポート 1	スロット 7 のタイプ p ストレージコントロ ーラー

8 SFF (2.5 型) x4 NVMe ドライブストレージコントローラーのケーブル接続: タイプ p 2 ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78630-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1 とポート 2	スロット 6 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 2
	青色	ボックス 4、ポート 3 とポート 4	スロット 6 のタイプ p ストレージコントロ ーラーポート 1

E3. S ドライブ構成

サブトピック

[ドライブボックス 1 のケーブル接続](#)
[ドライブボックス 3 のケーブル接続](#)
[ドライブボックス 4 のケーブル接続](#)
[ドライブボックス 6 のケーブル接続](#)

ドライブボックス 1 のケーブル接続

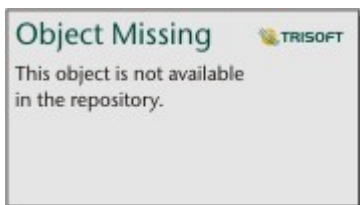
8 E3. S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサ メザニンボード）
P78323-001	オレンジ色	ボックス 1、ポート 1: ドライブ 1 および 2 用	M-X10 ポート 0
P78324-001	青色	ボックス 1、ポート 2: ドライブ 3 および 4 用	M-X10 ポート 2
	金色	ボックス 1、ポート 1: ドライブ 5 および 6 用	M-X10 ポート 6
	ピンク色	ボックス 1、ポート 2: ドライブ 7 および 8 用	M-X10 ポート 4

ドライブボックス 3 のケーブル接続

8 E3. S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78323-001	オレンジ色	ボックス 3、ポート 1: ドライブ 1 および 2 用	M-X10 ポート 1
	青色	ボックス 3、ポート 2: ドライブ 3 および 4 用	M-X10 ポート 2
	金色	ボックス 3、ポート 1: ドライブ 5 および 6 用	M-X10 ポート 6
	ピンク色	ボックス 3、ポート 2: ドライブ 7 および 8 用	M-X10 ポート 4

ドライブボックス 4 のケーブル接続

8 E3.S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続 : 2 プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (システムボード)
P78325-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1: ドライブ 1 および 2 用	M-X10 ポート 0
	青色	ボックス 4、ポート 2: ドライブ 3 および 4 用	M-X10 ポート 2
	金色	ボックス 4、ポート 1: ドライブ 5 および 6 用	M-X10 ポート 6

ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
	ピンク色	ボックス 4、ポート 2: ドライブ 7 および 8 用	M-X10 ポート 4

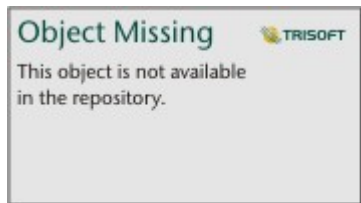
8 E3. S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続：4 プロセッサ構成

・ システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P78324-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1: ドライブ 1 および 2 用	M-X10 ポート 6
	青色	ボックス 4、ポート 2: ドライブ 3 および 4 用	M-X10 ポート 4

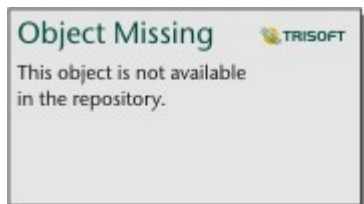
・ プロセッサメザニンボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサ —メザニンボード）
P78324-001	オレンジ色	ボックス 4、ポート 1：ドライブ 5 および 6 用	M-XIO ポート 6
	青色	ボックス 4、ポート 2：ドライブ 7 および 8 用	M-XIO ポート 4

ドライブボックス 6 のケーブル接続

8 E3.S x4 NVMe 直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボ ード）
P78326-001	オレンジ色	ボックス 6、ポート 1： ドライブ 1 および 2 用	M-XIO ポート 1
	青色	ボックス 6、ポート 1： ドライブ 3 および 4 用	M-XIO ポート 3
	金色	ボックス 6、ポート 1： ドライブ 5 および 6 用	M-XIO ポート 7
	ピンク色	ボックス 6、ポート 1： ドライブ 7 および 8 用	M-XIO ポート 5

ドライブ電源のケーブル接続

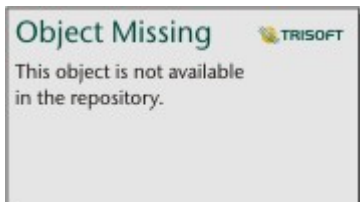
ドライブの電源ケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられているか、該当するストレージコントローラーケーブルオプションキットに組み込まれています。

SFF（2.5 型）ドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78327-001	オレンジ色	ボックス 1 の電源コネクタ	ボックス 1 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
	青色	ボックス 3 の電源コネクタ	ボックス 3 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
P78328-001	金色	ボックス 4 の電源コネクタ	ボックス 4 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
	ピンク色	ボックス 6 の電源コネクタ	ボックス 6 : ドライブバックプレーン電源コネクタ

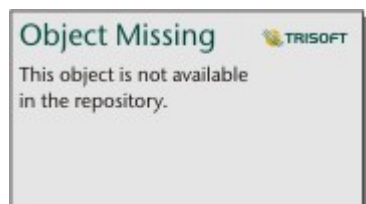
E3. S ドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78329-001	オレンジ色	ボックス 1 の電源コネクタ	ボックス 1 : ドライブバックプレーン電源コネクタ

ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78330-001	青色	ボックス 3 の電源コネクタ	ボックス 3 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
	金色	ボックス 4 の電源コネクタ	ボックス 4 : ドライブバックプレーン電源コネクタ
	ピンク色	ボックス 6 の電源コネクタ	ボックス 6 : ドライブバックプレーン電源コネクタ

スタックした 2 SFF (2.5 型) ドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78327-001	オレンジ色	ボックス 1 の電源コネクタ	ボックス 1 : ドライブバックプレーン電源コネクタ

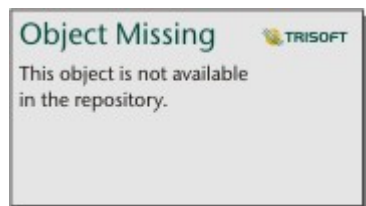
Energy Pack のケーブル接続



ケーブルの色	接続元	接続先
オレンジ色	Energy Pack	Energy Pack コネクタ

ストレージバックアップ電源のケーブル接続

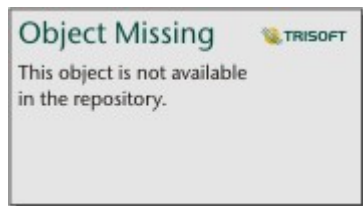
タイプoストレージコントローラー



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P78333-001	オレンジ色	タイプoコントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ2

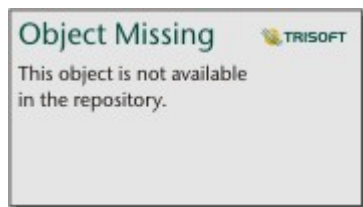
タイプpストレージコントローラー

・ 2 プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P78333-001	オレンジ色	ライザー 2~4 のコントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ2

・ 4 プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P78333-001	オレンジ色	ライザー 2 および 3 のコントローラー	ストレージコントロ ーラーのバックアッ プ電源コネクター 2
	青色	ライザー 4 および 5 のコントローラー	ストレージコントロ ーラーのバックアッ プ電源コネクター 1

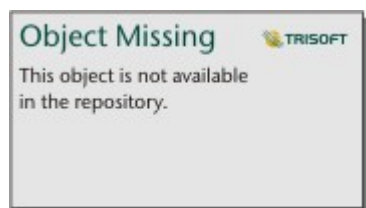
キャプティブライザーのケーブル接続

サブトピック

キャプティブライザーのケーブル接続 : 2 プロセッサー構成
キャプティブライザーのケーブル接続 : 4 プロセッサー構成

キャプティブライザーのケーブル接続 : 2 プロセッサー構成

ライザーの信号ケーブル接続



コンポーネントの部品 番号	色	接続元	接続先
P71883-001	オレンジ色	スロット 3 PCIe キャ プティブライザー	PCIe5 x16 ライザーコ ネクター 6
P71890-001	青色	スロット 4 PCIe キャ プティブライザー	PCIe5 x16 ライザーコ ネクター 4
P71883-001	金色	スロット 5 PCIe キャ プティブライザー	PCIe5 x16 ライザーコ ネクター 3
P71890-001	ピンク色	スロット 6 PCIe キャ プティブライザー	PCIe5 x16 ライザーコ ネクター 4

コンポーネントの部品 色
番号

接続元

接続先

緑色

スロット 7 PCIe キャ
プティブライザー

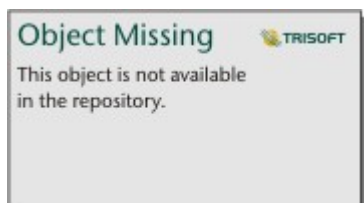
PCIe5 x16 ライザーコ
ネクター 2

紫色

スロット 8 PCIe キャ
プティブライザー

PCIe5 x16 ライザーコ
ネクター 2

ライザーの電源ケーブル接続



コンポーネントの部品 色
番号

接続元

接続先

P78312-001

オレンジ色

キャプティブライザ
ー 2 の電源コネクタ
ー

M-PIC 電源コネクタ
ー 3

P78313-001

青色

キャプティブライザ
ー 3 および 4 の電源
コネクター

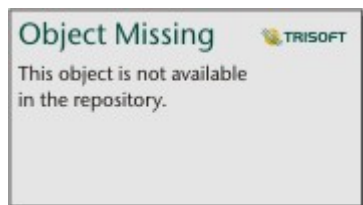
M-PIC 電源コネクタ
ー 4

キャプティブライザーのケーブル接続：4 プロセッサ構成

わかりやすくするために、以下の信号ケーブル接続の図にはシャーシは表示されていません。

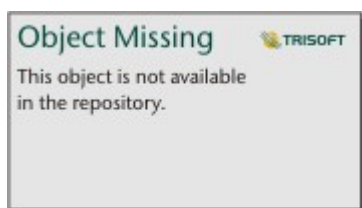
ライザーの信号ケーブル接続

- ・ キャプティブライザー スロット 1、2、11、12



コンポーネントの部 品番号	色	接続元	接続先（プロセッサー メザニンボード）
P73416-001	オレンジ色	スロット 1 PCIe キ ャプティブライザー	MCIO ポート 11
	青色	スロット 2 PCIe キ ャプティブライザー	MCIO ポート 13
	金色	スロット 11 PCIe キ ャプティブライザー	MCIO ポート 15
	ピンク色	スロット 12 PCIe キ ャプティブライザー	MCIO ポート 14

・ キャプティブライザー スロット 3、4、9、10



コンポーネントの部 品番号	色	接続元	接続先
P71884-001	オレンジ色	スロット 3 PCIe キ ャプティブライザー	プロセッサーメザニ ンボード : ◦ MCIO ポート 11 ◦ MCIO ポート 9
P71890-001	青色	スロット 4 PCIe キ ャプティブライザー	システムボード : PCI e5 x16 ライザーコネ クター 6
P71884-001	金色	スロット 9 PCIe キ ャプティブライザー	プロセッサーメザニ ンボード : ◦ MCIO ポート 10 ◦ MCIO ポート 8

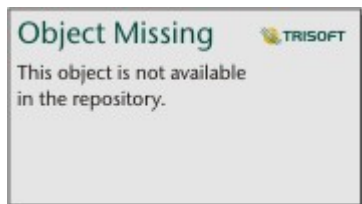
コンポーネントの部 品番号	色	接続元	接続先
P71890-001	ピンク色	スロット 10 PCIe キ ャプティブライザー	システムボード : PCI e5 x16 ライザーコネ クター 2

・ キャプティブライザー スロット 5~8



コンポーネントの部 品番号	色	接続元	接続先
P71883-001	オレンジ色	スロット 5 PCIe キ ャプティブライザー	PCIe5 x16 ライザー コネクター 4
P71890-001	青色	スロット 6 PCIe キ ャプティブライザー	PCIe5 x16 ライザー コネクター 6
P71883-001	金色	スロット 7 PCIe キ ャプティブライザー	PCIe5 x16 ライザー コネクター 3
P71890-001	ピンク色	スロット 8 PCIe キ ャプティブライザー	PCIe5 x16 ライザー コネクター 2

ライザーの電源ケーブル接続



コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先
P78312-001	オレンジ色	キャプティブライザー 1 の電源コネクタ	M-PIC 電源コネクタ 3
P78313-001	青色	キャプティブライザー 2 および 3 の電源コネクタ	M-PIC 電源コネクタ 4
	金色	キャプティブライザー 4 および 5 の電源コネクタ	M-PIC 電源コネクタ 1
P78312-001	ピンク色	キャプティブライザー 6 の電源コネクタ	M-PIC 電源コネクタ 2

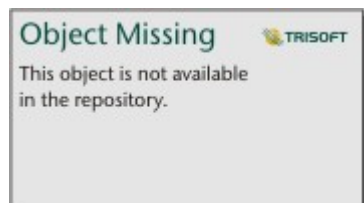
DPU 補助電源のケーブル接続

2 プロセッサ構成



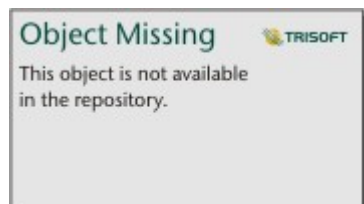
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74341-001	オレンジ色	DPU 電源コネクタ	キャプティブ補助電源コネクタ

4 プロセッサ構成



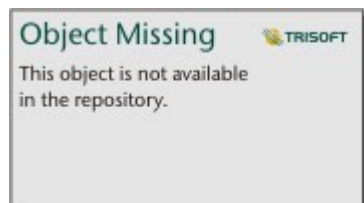
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74341-001	オレンジ色	DPU 電源コネクタ	キャプティブ補助電源コネクタ

オプティカルドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-002	オレンジ色	オプティカルドライブ	USB 3.2 Gen 1 ポート

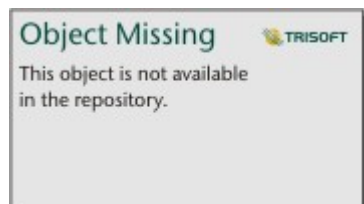
ユニバーサルメディアベイのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75280-001	オレンジ色	- DisplayPort - USB 2.0 ポート	USB 2.0/DisplayPort ケーブルコネクタ

HPE NS204i-u ブートデバイス V2 のケーブル接続

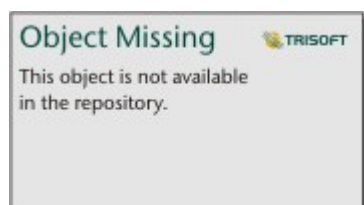
フロントパネルのブートデバイス



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクター	NS204i-u 電源コネクター
P74839-001	青色	ブートデバイス信号コネクター	NS204i-u 信号コネクター

リアパネルのブートデバイス

わかりやすくするために、次の図にはシャーシは表示されていません。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71913-001	オレンジ色	ブートデバイス信号コネクター	NS204i-u 信号コネクター
P54088-001	青色	ブートデバイス電源コネクター	NS204i-u 電源コネクター

側波帯ボードのケーブル接続

側波帯ボードからシステムボードへのケーブル接続

わかりやすくするために、次のケーブル接続の図にはシャーシは表示されていません。



コンポーネントの部品 色
番号

接続元

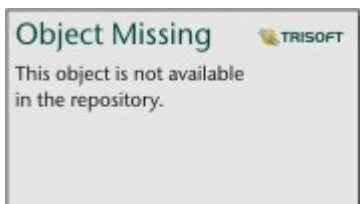
接続先

P74904-001	オレンジ色	HPM SB1	側波帯信号コネクタ — 1
------------	-------	---------	------------------

1

側波帯ボード上のシルクスクリーンマーカー

側波帯ボードからプロセッサメザニンボードへのケーブル接続



コンポーネントの部品 色
番号

接続元

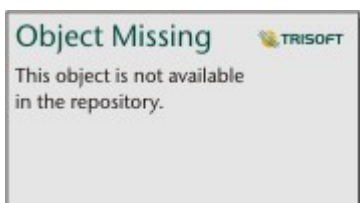
接続先

P74901-001	オレンジ色	CB1 SB <u>1</u>	側波帯信号コネクタ —
------------	-------	-----------------	----------------

1 側波帯ボード上のシルクスクリーンマーカー

ファンのケーブル接続

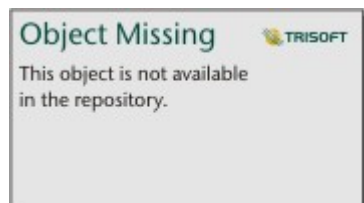
ファンケーブルブラケットで組み立てられたファンケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78331-001	オレンジ色	ファン 1 および 2	ファンコネクター 1 および 2
	青色	ファン 3 および 4	ファンコネクター 5 および 6

Intel UPI のケーブル接続

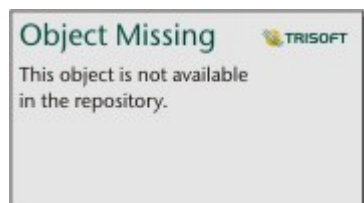
2 プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72257-001	オレンジ色	UPI コネクター 5 および 6	UPI コネクター 11 および 12
P72259-001	青色	UPI コネクター 3 および 4	UPI コネクター 9 および 10
P74340-001	金色	UPI コネクター 1 および 2	UPI コネクター 7 および 8

4 プロセッサ構成

わかりやすくするために、次のケーブル接続の図にはシャーシは表示されていません。



ケーブルの部品番号	色	接続元（プロセッサ メザニンボード）	接続先（システムボ ード）
P74902-001	オレンジ色	UPI コネクタ 1 およ び 2	UPI コネクタ 1 およ び 2
	青色	UPI コネクタ 7 およ び 8	UPI コネクタ 7 およ び 8
P74903-001	金色	UPI コネクタ 9 およ び 10	UPI コネクタ 3 およ び 4
	ピンク色	UPI コネクタ 3 およ び 4	UPI コネクタ 9 およ び 10

OCP 帯域幅有効化のケーブル接続

スロット 14 OCP A PCIe x8 構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72256-001	オレンジ色	M-XIO ポート 17	M-XIO OCP ポート A-1

スロット 14 OCP A PCIe x16 構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72256-001	オレンジ色	M-XIO ポート 17	M-XIO OCP ポート A-1
	青色	M-XIO ポート 13	M-XIO OCP ポート A-2

スロット 15 OCP B PCIe5 x16 構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72031-001	オレンジ色	M-X10 ポート 12	M-X10 OCP ポート B

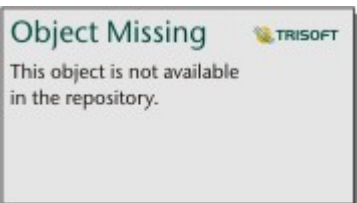
シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P73744-001	オレンジ色	シリアルポートケーブルコネクタ	ix ポートケーブル
P71826-001	青色	ix ポートケーブル	シリアルポートのドングル

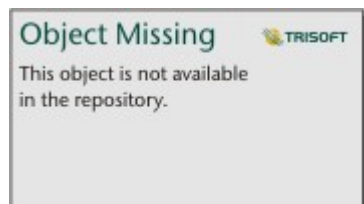
¹ このポートは DC-SCM 上に配置されています。

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54901-001	オレンジ色	シャーシ侵入検知スイッチ	シャーシ侵入検知スイッチコネクター

Systems Insight Display のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001	オレンジ色	Systems Insight Display	SID コネクター

フロント I/O のケーブル接続

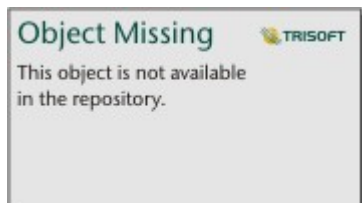
フロント I/O ケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71909-001	オレンジ色	右シャーシイヤー	フロント I/O コネクター
	青色	USB 3.2 Gen 1 ポート	
	ピンク色	iLO サービスポート	

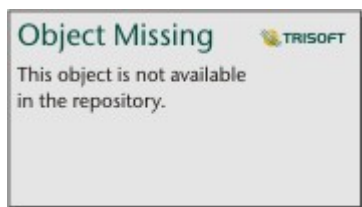
DLC モジュールのケーブル接続

システムボードの液冷コネクタ



オプション PN	色	接続元	接続先
P78017-B21	オレンジ色	直接液冷モジュール	液冷コネクタ

プロセッサメザニンボードの液冷コネクタ



オプション PN	色	接続元	接続先
P78017-B21	オレンジ色	直接液冷モジュール	液冷コネクタ

PDU のケーブル接続



注意

以下のサポートされている構成のみを使用して、電源コードを接続してください。サポートされていない電源装置またはケーブル接続構成を使用すると、システム電源の予期しない損失が起こる可能性があります。

電源装置のケーブル接続方法は、選択したパワーディストリビューションユニット（PDU）によって異なります。回路ブレーカーの適切な動作と機能性を確保するには、電源装置の入力電流定格が PDU 内の各ブレーカー（ノード）の電流定格よりも低くなければなりません。

このセクションの図は、論理マッピングの参考のためにのみ示したものです。実際の電源装置のケーブル接続は、ラックと PDU の特定のセットアップによって異なります。

サーバー電源装置との PDU の互換性については、PDU の QuickSpecs を参照してください。

サブトピック

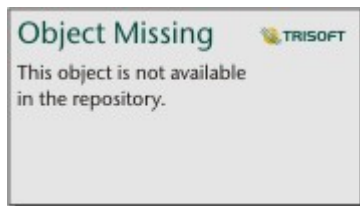
PDU のケーブル接続：2 電源装置構成

PDU のケーブル接続：4 電源装置構成

PDU のケーブル接続：2 電源装置構成

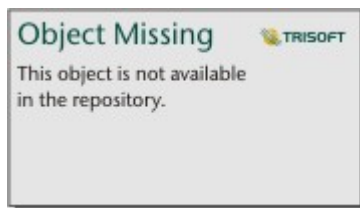
2 電源装置構成がシステムドメインをサポートします。ラック、カブレット、ストレージの数、および入力電圧に応じて、この構成を 1 つまたは 2 つの PDU に接続します。

1 つの PDU



2 つの PDU

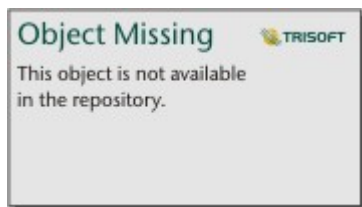
いずれかの PDU に障害が発生した場合、残りの PDU の給電容量がドメイン全体の負荷を補える限り、サーバーは動作を継続します。



PDU のケーブル接続：4 電源装置構成

4 電源装置構成が、システムドメインとプロセッサメザニンドメインをサポートします。

1 つの PDU



2 つの PDU

いずれかの PDU に障害が発生した場合、残りの PDU の給電容量がドメイン全体の負荷を補える限り、サーバーは動作を継続します。



トラブルシューティング

サブトピック

NMI 機能

フロントパネルの LED 電源障害コード

トラブルシューティングの関連情報

NMI 機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者は NMI クラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMI を使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者は iLO 生成 NMI 機能を使って、OS に強制的に NMI ハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

フロントパネルの LED 電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LED の動作
システムボード	1 回の点滅
プロセッサ	2 回の点滅
メモリ	3 回の点滅
ライザーボードの PCIe スロット	4 回の点滅
OCP アダプター	5 回の点滅
ストレージコントローラー	6 回の点滅
システムボード PCIe のスロット	7 回の点滅
電源バックプレーン	8 回の点滅
ストレージバックプレーン	9 回の点滅
電源装置	10 回の点滅
ライザーボードに取り付けられた PCIe 拡張カード	11 回の点滅
シャーシ	12 回の点滅
GPU カード	13 回の点滅

トラブルシューティングの関連情報

トラブルシューティングのサポートが必要な場合は、お使いのサーバーに関する最新の記事を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/dl580gen12-ts>

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品の QuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を参照してください。
- HPE ファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPE ファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。
<https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks>

サブトピック

[ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート](#)

[サーバーの構成](#)

[ストレージコントローラーの構成](#)

[オペレーティングシステムの展開](#)

[セキュリティの構成](#)

[サーバー管理](#)

[Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート

実行する操作

使用

Service Pack のダウンロード

- Service Pack for HPE ProLiant
<https://www.hpe.com/servers/spp/download>
- SPP とそのエコシステムの概要を理解する
<https://www.hpe.com/support/SPP-overview-videos-en>

Service Pack を 1 台のサーバーに展開する

Smart Update Manager

<https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-quicklinks>

実行する操作

使用

Service Pack を複数のサーバーに展開する

HPE OneView

<https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks>

単一サーバーでの iLO またはシステムファームウェアのアップデート

iLO ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

- ・ 分散されたサーバーインフラストラクチャでサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベース管理を可能にする
- ・ 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する
- ・ 自動 iLO ファームウェアアップデートを受け取る
- ・ ベースラインアップデートアラートを受け取る

HPE Compute Ops Management

<https://www.hpe.com/info/com-quicklinks>

サーバーの構成

構成する対象

使用

単一サーバー (GUI)

- ・ Intelligent Provisioning

<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>

- ・ iLO リモートコンソールまたは Web インターフェイス

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

- ・ UEFI システムユーティリティ

	https://www.hpe.com/support/hpeuefisytemutilities-quicklinks - HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks
単一サーバー（スクリプト）	- RESTful インターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs - Python iLO Redfish ライブラリ (python-ilorest-library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library - Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs - iLO RESTful API https://servermanagementportal.ext.hpe.com/ - HPE Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/
複数のサーバー（UI またはスクリプトのいずれか）	- HPE OneView¹ https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks - HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks 。サーバー設定：ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメータ

ターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。

- ・ **サーバーグループ**：関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成し、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

- ¹ HPE OneView を実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLO などの別のツールを使用しないでください。HPE OneView と iLO を使用して、同じサーバーを管理する方法について詳しくは、iLO ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ

ドキュメント

HPE SR Gen 10 コントローラー

- ・ <https://www.hpe.com/support/SR-Gen10-UG>
HPE Smart アレイ SR Gen10 コントローラーユーザーガイド
- ・ SR Gen10 コントローラー RAID の作成：
<https://www.hpe.com/support/SR-RAID-creation>

HPE MR コントローラーユーザーガイド

- ・ HPE MR Gen11 コントローラーユーザーガイド
<https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG>
 - ・ MR Gen11 コントローラー構成：
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-configuration>

- MR Gen11 コントローラ RAID の作成 :

<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-RAID-creation>

- ・ HPE MR932i-p PCIe SPDM PI ストレージコントローラユーザーガイド

<https://hpe.com/support/MR932i-UG>

- MR932i-p コントローラ構成 :

<https://www.hpe.com/support/MR932i-configuration>

- MR932i-p コントローラ RAID の作成 :

<https://www.hpe.com/support/MR932i-RAID-creation>

HPE MR コントローラ構成ガイド

- ・ HPE MR Storage Administrator User Guide

<https://www.hpe.com/support/MRSA>

- ・ HPE StorCLI User Guide

<https://www.hpe.com/support/StorCLI>

- ・ HPE StorCLI2 User Guide

<https://www.hpe.com/support/StorCLI2>

Intel VROC for HPE Gen12

- ・ Intel Virtual RAID on CPU for HPE ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/VROC-UG>

- ・ Intel VROC NVMe RAID クイックインストール :

<https://www.hpe.com/support/VROC-NVMe-RAID-installation>

OS 固有の構成ガイド :

- ・ Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Windows User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094004_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_Windows/

- ・ Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Linux User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094694_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_Linux/

- ・ Intel Volume Management Device Driver for VMware ESXi User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094787_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_VMware_ESXi/

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次の HPE サーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

実行する操作

参照

HPE Compute Ops Management を使用して OS を展開する

HPE Compute Ops Management ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/info/com-quicklinks>

Intelligent Provisioning を使用して OS を展開する

Intelligent Provisioning ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>

実行する操作

参照

iLO 仮想メディアを使用して OS を展開する

iLO ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

サーバーが PXE サーバーから起動するように構成する

UEFI System Utilities User Guide for HPE Compute servers

<https://www.hpe.com/support/UEFIGen12-UG-en>

サーバーが SAN から起動するように構成する

HPE Boot from SAN Configuration Guide

<https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide>

セキュリティの構成

実行する操作

参照

サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。

- ・ HPE コンピュートセキュリティリファレンスガイド

<https://www.hpe.com/info/server-security-reference-ja>

- ・ HPE iLO 7 セキュリティテクノロジーの概要

<https://www.hpe.com/support/ilo7-security-en>

サーバー構成ロック機能が有効にされている HPE Trusted Supply Chain サーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。

Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy

<https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en>

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
複数のサーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks

Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

実行する操作	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

規定に関する情報

保証情報

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

サブトピック

Notices for Eurasian Economic Union（ユーラシア経済連合）

Turkey RoHS material content declaration

Ukraine RoHS material content declaration

Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)



Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

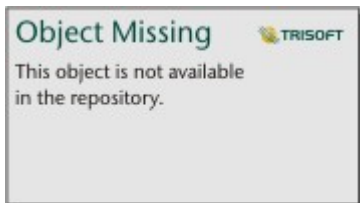
- **Russia**
ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз",
Российская Федерация, 125171, г. Москва,
Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499
403 4248 Факс: +7 499 403 4677
- **Kazakhstan**
ТОО «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика
Казахстан, 050040, г. Алматы, Бостандыкский
район, проспект Аль-Фараби, 77/7, Телефон/
факс: + 7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

- **Russia**
ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей
Федерациясы, 125171, Мәскеу, Ленинград тас
жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403
4677
- **Kazakhstan**
ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан
Республикасы, 050040, Алматы к., Бостандык
ауданы, Өл-Фараби даңғылы, 77/7, Телефон/факс: +7
727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

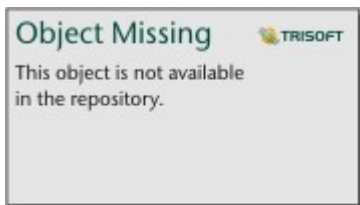


If you need help identifying the manufacturing date, contact tre@hpe.com.

Turkey RoHS material content declaration

Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine RoHS material content declaration



保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

仕様

サーバーの環境、機械、電源装置の仕様について説明します。

サブトピック

[環境仕様](#)

環境仕様

仕様	値
温度範囲	—
動作時	10° C～35° C (50° F～95° F)
非動作時	空冷式システム：-30° C～60° C (-22° F～140° F) 液冷式システム (DLC、CLLC)：-10° C～60° C (14° F～140° F) 注意：クーラントが凍結して液冷式モジュールが損傷することを避けるために、液冷式システムを-10° C (14° F) 以下に保たないでください。
相対湿度（ただし結露しないこと）	—
動作時	8%～90% 28° C (82.4° F)、最高湿球温度（結露しないこと）
非動作時	5%～95% 38.7° C (101.7° F)、最高湿球温度（結露しないこと）
高度	—
動作時	3,050 m (10,000 フィート) この値は、取り付けられているオプションのタイプや数によって制限される場合があります。高度の許容最大変化率は 457 m/分です。
非動作時	9,144 m (30,000 フィート) 高度の許容最大変化率は 457m/分 (1,500 フィート/分) です。

サポートされる標準動作温度

海拔 0 m で 10° ～35° C。海拔 3,050 m までは、高度が 305 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は 20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

気温が 30° C を超えているか、ファンが故障している場合は、標準動作のサポート中にシステムパフォーマンスが低下することがあります。

サポートされる拡張時の動作周囲温度

承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気範囲が次のように拡大されます。

- ・ 海拔 0 m で 5~10° C および 35~40° C。この温度は、900 m~3050 m までは、高度が 175 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。
- ・ 海拔 0 m で 40° ~45° C。この温度は、900 m~3,050 m までは、高度が 125 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、Extended Ambient Temperature Guidelines for Gen12 Servers を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen12>

機械仕様

仕様	値
寸法	—
高さ	17.47 cm (6.88 インチ)
奥行き	80.26 cm (31.60 インチ)
幅	44.78 cm (17.63 インチ)
重量 (概算値)	—
2 プロセッサ構成	—
重量、最小	28.79 kg (63.48 ポンド)
重量、最大	37.24 kg (82.12 ポンド)
4 プロセッサ構成	—
重量、最小	38.77 kg (85.47 ポンド)
重量、最大	48.75 kg (107.49 ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)にある QuickSpecs を参照してください。

サブトピック

[HPE 1500 W M-CRPS Titanium パワーサプライ \(HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

[HPE 2200 W M-CRPS -48 VDC パワーサプライ \(HPE 2200 W M-CRPS -48 VDC Hot-plug Power Supply\)](#)

[HPE 2400 W M-CRPS Titanium パワーサプライ \(HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

[HPE 3200 W M-CRPS Titanium パワーサプライ \(HPE 3200 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

HPE 1500 W M-CRPS Titanium パワーサプライ (HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	—
定格入力電圧	低入力電圧：100 VAC～110 VAC 低入力電圧：110 VAC～120 VAC 高入力電圧：200 VAC～240 VAC 240 VDC（中国）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	12 A（100 VAC 時） 12 A（110 VAC 時） 9 A（200 VAC 時）
最大定格入力電力	1000 W（100 VAC 時） 1100 W（110 VAC 時） 1500 W（200 VAC 時）

仕様	値
BTU/時	3792 (100 VAC 時) 5560 (200 VAC 時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	低入力電圧 : 1000 W (100 VAC~110 VAC 時) 低入力電圧 : 1100 W (110 VAC~120 VAC 時) 高入力電圧 : 1500 W (200 VAC~240 VAC 入力時)
最大ピーク電力	1000 W (100 VAC~110 VAC 時) 1100 W (110 VAC~120 VAC 時) 1500 W (200 VAC~240 VAC 入力時)
寸法	—
高さ	40.00 mm (1.57 インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28 インチ)
幅	60.00 mm (2.36 インチ)

HPE 2200 W M-CRPS -48 VDC パワーサプライ (HPE 2200 W M-CRPS -48 VDC Hot-plug Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	-48 VDC~-60 VDC
定格入力周波数	DC 入力
定格入力電流	62.5 A (-40 VDC 時)
最大定格入力電力	2420 W (-40 VDC 時) 2393 W (-48 VDC 時) 2260 W (-72 VDC 時)

仕様	値
BTU/時	・ 8258 (−40 VDC 時) ・ 8163 (−48 VDC 時) ・ 8052 (−72 VDC 時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	2200 W
最大ピーク電力	2200 W (−48 VDC〜−60 VDC 時)
寸法	—
高さ	40.00 mm (1.57 インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28 インチ)
幅	73.50 mm (2.89 インチ)

HPE 2400 W M-CRPS Titanium パワーサプライ (HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	—
定格入力電圧	低入力電圧 : 100 VAC〜127 VAC 高入力電圧 : 200 VAC〜240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50〜60 Hz
定格入力電流	14.5 A (100〜127 VAC 時) 14.5 A (200〜240 VAC 時)
最大定格入力電力	1290 W (100 VAC 時) 1279 W (120 VAC 時) 1275 W (127 VAC 時) 2551 W (200 VAC 時)

仕様	値
	2549 W (208 VAC 時)
	2541 W (230 VAC 時)
	2539 W (240 VAC 時)
	2541 W (240 VDC 時)
BTU/時	4403 (100 VAC 時)
	4364 (120 VAC 時)
	4349 (127 VAC 時)
	8705 (200 VAC 時)
	8696 (208 VAC 時)
	8671 (230 VAC 時)
	8662 (240 VAC 時)
	8672 (240 VDC 時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	低入力電圧 : 1200 W (100 VAC~127 VAC 時) 高入力電圧 : 2400 W (200 VAC~240 VAC 入力時)
最大ピーク電力	1200 W (100 VAC~127 VAC 時) 2400 W (200 VAC~240 VAC 入力時)
寸法	—
高さ	40.00 mm (1.57 インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28 インチ)
幅	73.50 mm (2.89 インチ)

HPE 3200 W M-CRPS Titanium パワーサプライ (HPE 3200 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	16 A (100～127 VAC 時) 16 A (200～240 VAC 時)
最大定格入力電力	1504 W (100 VAC 時) 1727 W (120 VAC 時) 1723 W (127 VAC 時) 3100 W (200 VAC 時) 3207 W (208 VAC 時) 3433 W (230 VAC 時) 3429 W (240 VAC 時) 3436 W (240 VDC 時)
BTU/時	5132 (100 VAC 時) 5894 (120 VAC 時) 5878 (127 VAC 時) 10577 (200 VAC 時) 10941 (208 VAC 時) 11713 (230 VAC 時) 11699 (240 VAC 時) 11724 (240 VDC 時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	1600 W (100～127 VAC 時) 3200 W (200～240 VAC 入力時)
最大ピーク電力	1600 W (100～127 VAC 時) 3200 W (200～240 VAC 時)
寸法	—
高さ	40.00 mm (1.57 インチ)

仕様	値
奥行き	185.00 mm (7.28 インチ)
幅	73.50 mm (2.89 インチ)

Web サイト

Web サイトでは HPE のツール、リソース、および製品ドキュメントへのリンクが提供されています。

一般的な Web サイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

製品のホワイトペーパーとアナリストレポート

<https://www.hpe.com/us/en/resource-library>

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE ProLiant Compute DL580 Gen12 ユーザードキュメント

<https://www.hpe.com/info/dl580gen12-docs>

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)

[HPE 製品登録](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[カスタマーセルフリペア \(CSR\)](#)

[リモートサポート](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

HPE 製品登録

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約と製品を HPESC のアカウントに追加してください。

- ・ 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- ・ また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、最適化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、<https://www.hpe.com/info/add-products-contracts> を参照してください。

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイ HPE ソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格情報を表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンター **More Information on Access to Support Materials** ページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>



重要

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品資格情報が必要な場合があります。関連する資格情報で HPE アカウントをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。

CSR について詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterprise では、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE リモート IT サポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care Service

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) で、開いているドキュメントのページにあるフィードバックボタンをクリックしてください。この機能を使用して、誤り、提案、コメントなどをお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。